Canon

LASER SHOT LBP-2810
LBP-2360
LBP-1910
LBP-1810
LBP-1710

PIXEL L

CREATIVE PROCESSOR 680/680II
LIPS プリンタボード・CP LIPS-B1/C1

CREATIVE PROCESSOR 660
LIPS プリンタボード・CP LIPS-B1

内蔵型プリントサーバ NB-5F

ネットワークガイド

ネットワークガイドの構成について

ソフトウェアの削除方法などを説明しています。

目　次

第 1 章　ご使用の前に

第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

第 3 章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）

第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）

はじめに

このたびはキヤノン製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

• ご確認ください。

CP660/680 LIPS-B1 をお使いのお客様は、内蔵プリントサーバのバージョンが 2.00 以上でないとリモート UI を使用することはできません。

バージョンはステータスプリントで確認することができます。

ステータスプリントの実行方法は、プリンタまたはプリンタボードに付属の取扱説明書を参照してください。

内蔵プリントサーバのバージョンアップ方法はキヤノン販売株式会社のホームページを参照してください。

キヤノン販売株式会社　ファームウェアアップデートページ

http://www.canon-sales.co.jp/drv-upd/nic/index-j.html

本書の読みかた

マークについて

本書では、操作上必ず守っていただきたい事項や操作の参考となることなどの説明に、下記のマークを付けています。

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルを防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

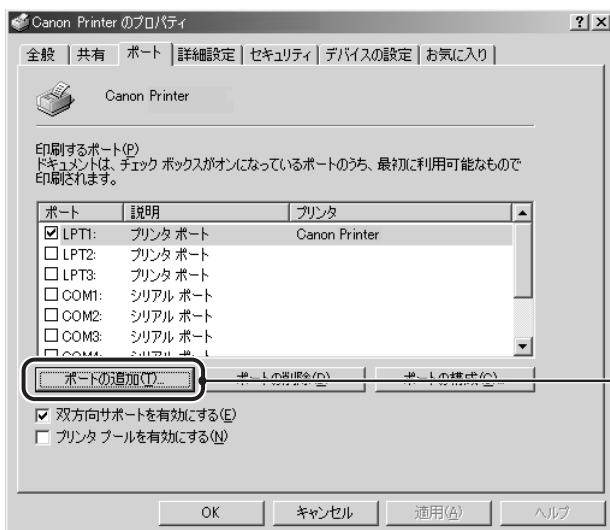
キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- プリンタ上のキー.................................. [オンライン]
- コンピュータ画面上のボタン .... [設定] ボタン

画面について

本書で使われているコンピュータ操作画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

操作時にクリックするボタンの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うボタンが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいます。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版を Windows 95 と表記しています。

Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版を Windows 98 と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版を Windows Me と表記しています。

Microsoft® Windows NT® operating system 日本語版を Windows NT と表記しています。

Microsoft® Windows® operating system 日本語版を Windows と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版を Windows 2000 と表記しています。

Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版を Windows XP と表記しています。

Novell NetWare® を NetWare と表記しています。

CP680 または CP680Ⅱを CP680 と表記しています。

商標について

Canon、Canon ロゴ、NetSpot は、キヤノン株式会社の商標です。

Adobe、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。

Apple、AppleTalk、EtherTalk、LocalTalk、Macintosh、Mac OS、Power Macintosh は、米国 Apple Computer, Inc. の商標です。

HP、HP-UX は、ヒューレット・パッカード株式会社の商標です。

IBM は、米国 IBM Corporation の商標です。

Linux は、Linus Torvalds の商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows ロゴ、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標です。

Netscape、Netscape Communicator、Netscape Navigator は、米国 Netscape Communications Corporation の商標です。

NetWare、Novell は、米国 Novell, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
NDS、NDPS、NLM、Novell Client は、米国 Novell, Inc. の商標です。
©1996 Novell, Inc., all rights reserved.

Red Hat は、米国 Red Hat Software の商標です。

Solaris、Sun、SunOS、Sun Microsystems は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国および他の国における商標です。

Turbolinux は、Turbolinux, Inc. の商標です。

Ethernet は、米国 Xerox Corporation の商標です。

Unix は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国および他の国における登録商標です。

LASER5 は、レーザーファイブ株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

1

CHAPTER

ご使用の前に

対応しているネットワーク環境やお使いのネットワーク環境の確認など、お使いになる前に知っていただきたいことについて説明しています。

必要なシステム環境

本プリンタが対応しているシステム環境について説明します。

印刷するときに必要なシステム環境

本製品を使用して印刷するときは、使用するネットワークに応じて以下のシステム環境が必要です。

■ TCP/IP ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ・Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Server 3.51/4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows NT Workstation 3.51/4.0 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  - ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  - ・Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
  - ・日本語 Solaris Version 1.1.x（SunOS Version 4.1.x）以降
  - ・日本語 Solaris Version 2.5.x（SunOS Version 5.5.x）以降
  - ・HP-UX Version 10.x 以降
  - ・IBM-AIX Version 4.x 以降
  - ・日本語 Red Hat Linux 5.2 以降
  - ・LASER5 Linux 6.0 以降
  - ・Turbolinux 日本語版 3.0 以降
- 対応しているコンピュータ
  - ・Windows 95/98/Me/NT/2000/XP をお使いのときは、IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

■ NetBIOS ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応している OS
  - ・Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
- 対応しているコンピュータ
  - ・IBM PC 機／その他互換機、PC-98 シリーズ
- コンピュータに必要なメモリ
  - ・16MB 以上

■ NetWare ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているサーバ
  ・Novell NetWare Version 3.20J/4.1J/4.11J/4.20J/5.0J/5.1J
- 対応しているクライアント
  ・Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
  ・Microsoft Windows NT Server 3.51/4.0 日本語版
  ・Microsoft Windows NT Workstation 3.51/4.0 日本語版
  ・Microsoft Windows 2000 Server 日本語版
  ・Microsoft Windows 2000 Professional 日本語版
  ・Microsoft Windows XP Professional 日本語版
  ・Microsoft Windows XP Home Edition 日本語版
- 対応しているコンピュータ
  ・IBM PC 機 / その互換機、PC-98 シリーズ

■ AppleTalk ネットワークを使用して印刷する場合

- 対応しているコンピュータ
  ・68040以上のプロセッサを搭載したMacintoshシリーズまたはPower Macintosh シリーズ
- 対応している OS
  ・Mac OS 8.0 以降
- 対応している AppleTalk
  ・フェーズ 2 の EtherTalk
- コンピュータに必要なメモリ
  ・Macintosh シリーズは 12MB 以上、Power Macintosh シリーズは 16MB 以上 (Mac OS 8.5、8.6 のときは 24MB 以上、Mac OS 9 のときは 32MB 以上)

重要

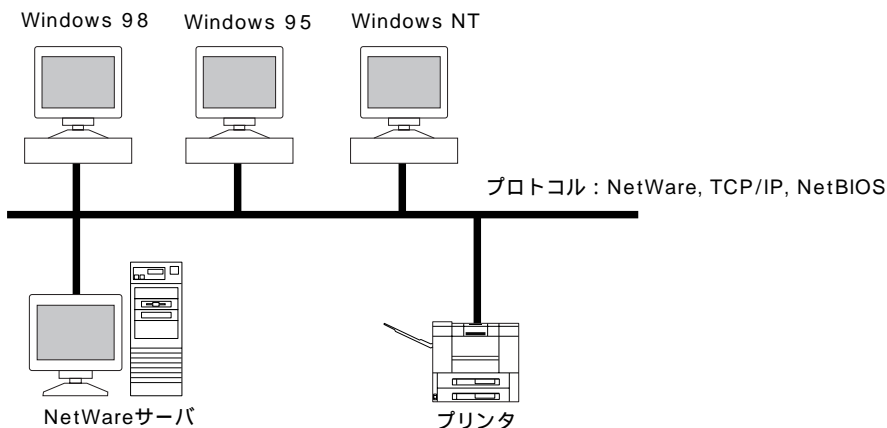
- Windows NT をお使いのときは、以下のサービスパックをインストールしてください。
  ・Windows NT 3.51 をお使いのとき：Service Pack 4 以降
  ・Windows NT 4.0 をお使いのとき：Service Pack 5 以降
- 本製品は、Macintosh の LocalTalk ネットワークには対応していません。

お使いのネットワーク環境の確認

以下の図を参考に、プリンタを接続するネットワーク環境の確認をして、必要な作業を行ってください。

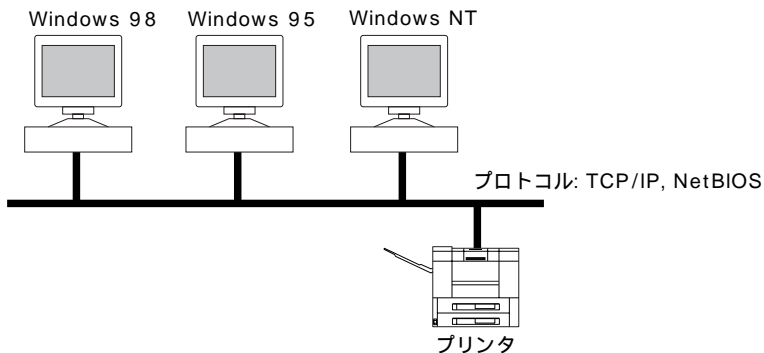
Windows 95/98/Me/NT/2000/XP のネットワークの例

NetWare サーバがある場合

下図のようなネットワーク環境の場合、プロトコルは NetWare、TCP/IP、NetBIOS のいずれかが使用できます。また、同時に複数のプロトコルを使用することもできます。NetBIOS は Windows 95/98/Me のみ使用できます。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

・「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
・「第 3 章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）」
・「第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

NetWare サーバがない場合

下図のようなネットワーク環境の場合、プロトコルはTCP/IP、NetBIOSのいずれかが使用できます。また、同時に複数のプロトコルを使用することもできます。NetBIOSはWindows 95/98/Meのみ使用できます。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

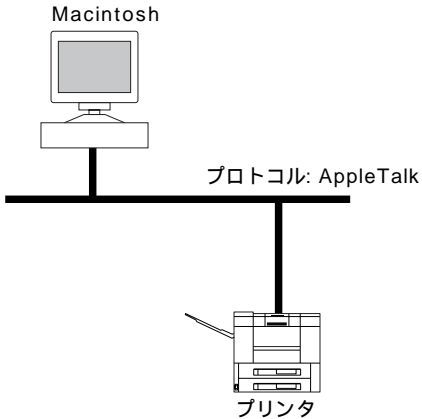
・「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」

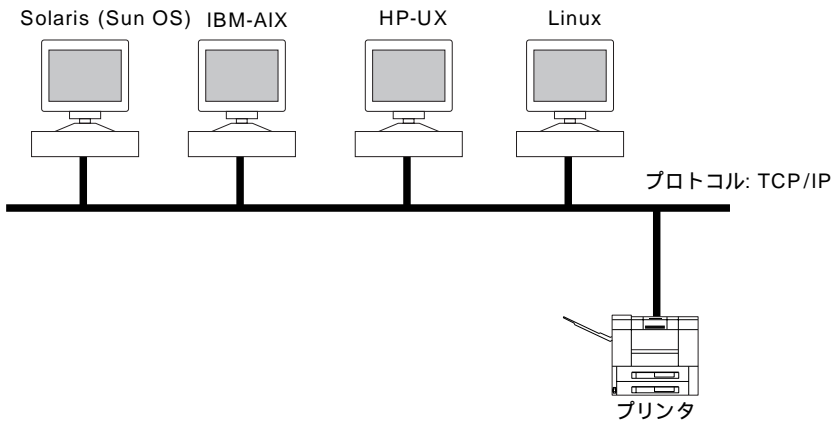
・「第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

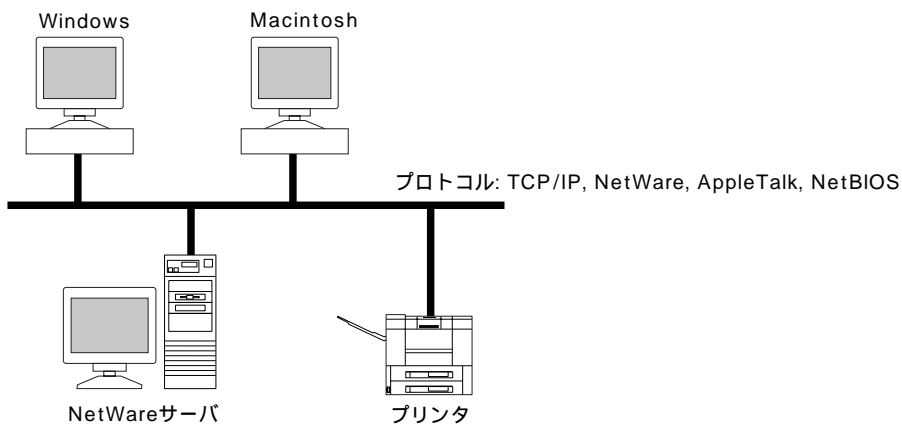
メモ

- 上記の作業を行うと、印刷を行うコンピュータがそれぞれ直接ネットワークプリンタに印刷を行うようになります。TCP/IP プロトコルを使用する場合は、ネットワーク上のWindows 2000/XP または Windows NT をプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバの設定手順については、「プリントサーバの設定」（→ P.2-38）を参照してください。
- Windows 95/98/Meのみのネットワーク環境でTCP/IP プロトコルを使用していない場合は、NetBIOS プロトコルをお使いになると簡単な設定だけで使用できます。

Macintosh のネットワークの例

Macintosh では、使用するプロトコルは AppleTalk（EtherTalk）になります。（→第 5 章　AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh））

UNIX のネットワークの例

UNIX では、使用するプロトコルは TCP/IP になります。（→第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX））

いろいろなコンピュータが混在しているネットワークの例

いろいろなコンピュータが混在しているときは、使用しているコンピュータに応じて各作業を行います。
例えば、Windows 95 と Macintosh を使用している場合は、「Windows 95/98/Me/NT/2000/XP のネットワークの例」と「Macintosh のネットワークの例」の両方の設定を行ってください。

使用するプロトコルに合わせて、以下を参照してください。

・「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」
・「第 3 章　NetWare ネットワークで使用するには（Windows）」
・「第 4 章　NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）」

TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

2
CHAPTER

TCP/IP ネットワークでプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業

TCP/IP ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブルの接続（→ネットワークガイド／スタート編）

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付け、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けが必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 プロトコル設定の準備（→ P.2-3）

プリンタのプロトコル設定をする前にプリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定します。以下のいずれかを使用して設定できます。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- ARP ／ PING コマンド
- プリンタの操作パネル

3 プリンタのプロトコルの設定（→ P.2-9）

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- NetSpot
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

4 印刷を行うコンピュータの設定（→ P.2-20）

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要

- 手順 1、2、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。
- TCP/IP ネットワークで印刷するときは、以下のプリントアプリケーションが使用できます。
  - ・LPD
  - ・FTP
  - ・Raw（Windows 2000/XP のみ）
  - ・IPP（Windows 95/98/Me/2000/XP のみ）
- 本製品には、各 UNIX で利用できるプリンタドライバソフトウェアは付属していません。
- 以下のプリンタをお使いのときは、手順 2 の作業をプリンタの操作パネルで行うことはできません。他の方法で行ってください。
  - ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
  - ・CP680/660

プリンタのプロトコル設定の準備

プリンタのプロトコル設定をする前に、プリンタとお使いのコンピュータが通信できるようにプリンタの IP アドレスを設定する必要があります。この作業は、以下のいずれかを使用して行います。使いやすい方法で設定してください。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- ARP/PING コマンド
- プリンタの操作パネル

重要

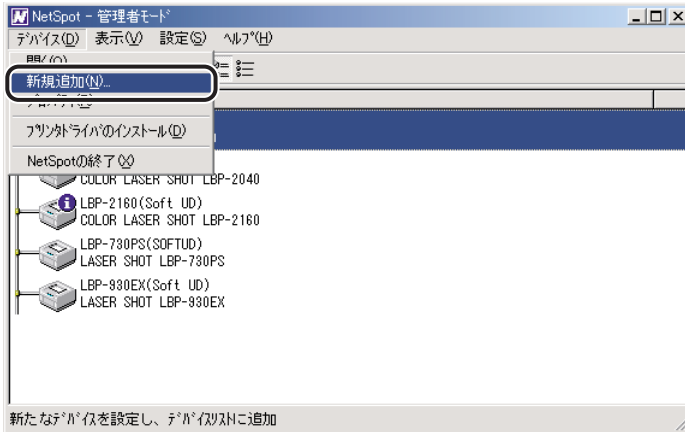
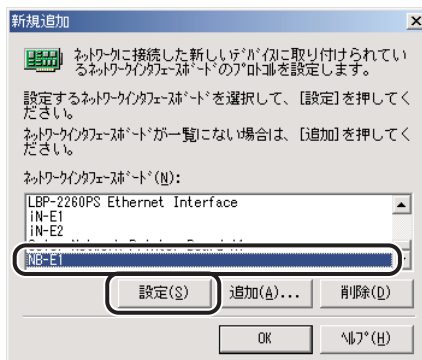
- NetSpot を使用する場合は、お使いのコンピュータに NetSpot がインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の NetSpot をインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）
- NetSpot が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、ARP ／ PING コマンド、またはプリンタの操作パネルを使用して設定を行ってください。
- 以下の作業では、プリンタの MAC アドレスとネットワークボード名が必要になります。MAC アドレスとネットワークボード名を確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってコンフィグプリントを実行してください。
  1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］を押します。
  3. ［<］、［>］で「ヒョウジュン N/W プリント」(ネットワークに標準対応していないプリンタのときは「カクチョウ I/F プリント」) を選択し、［∨］を押します。
     MAC アドレスはステータスプリントの左下の［ベンダーインフォ］に、ネットワークボード名は［ボード名称］（または［製品名称］）に表示されます。
- 以下の作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- NetSpot または、ARP/PING コマンドを使用する場合、以下の作業ではプリンタに直接 IP アドレスを割り当てます。本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。このときは、プリンタの IP アドレスは自動的に割り当てられますので、以下の作業を行う必要がありません。IP アドレスを割り当てなおすときや DHCP、BOOTP、RARP が使用できないときは、以下の作業を行ってください。

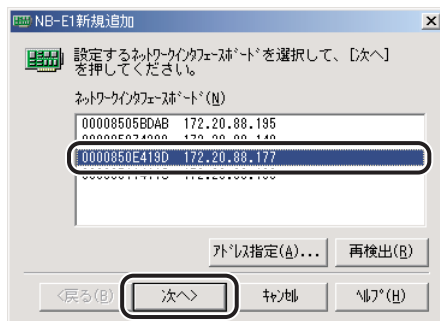
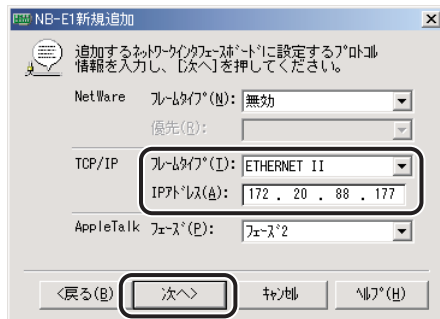
NetSpot による設定

1 NetSpot を管理者モードで起動します。

 メモ

- NetSpot 上に設定したいプリンタのアイコンが表示されるときは、プリンタとお使いのコンピュータは正常に通信できていますので、以下の手順は必要ありません。直接プリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.2-9）

2 ［デバイス］メニューから［新規追加 ...］を選択します。

3 ［ネットワークインタフェースボード］からネットワークボード名（［NB-E1］または［NB-5F］）を選択して、［設定］ボタンをクリックします。

「ネットワークインタフェースボード」に検出されたプリンタの MAC アドレスが表示されます。

4 ［ネットワークインタフェースボード］からプリンタの MAC アドレスを選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

5 ［TCP/IP フレームタイプ］と［IP アドレス］を設定して、［次へ>］ボタンをクリックします。

［TCP/IP フレームタイプ］は、「ETHERNET II」に設定します。［IP アドレス］は、プリンタに割り当てる IP アドレスを入力します。DHCP、BOOTP、RARPを使用する場合でも、一時的に IP アドレスを割り当ててください。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

NetSpot にプリンタのアイコンが表示されます。

プリンタのアイコンが画面上に表示されるまで、およそ 1 分程度かかります。

プリンタのアイコンが表示されないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

メモ
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、［0.0.0.0］に設定されます。

これで、プリンタのプロトコル設定の準備が完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.2-9）

ARP ／ PING コマンドによる設定

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示して、スーパーユーザとしてログインします。

2 次のコマンドを実行して、arp テーブルに静的なエントリを追加します。

arp　-s　＜IP アドレス＞　＜MAC アドレス＞

IP アドレス：　プリンタに割り当てる IP アドレスを指定します。「.」で区切られた 4 つの数字（0 ～ 255 の数字）で指定します。

MAC アドレス：　プリンタの MAC アドレスを指定します。2 桁ごとに「-」（UNIX をお使いの場合は「：」）で区切って入力します。

入力例（Windows）：arp -s 172.20.88.125 00-00-85-05-70-31

入力例（UNIX）：　arp -s 172.20.88.125 00:00:85:05:70:31

メモ

- IBM-AIX をお使いの場合は､｢arp -s ether　＜IP アドレス＞　＜MAC アドレス＞｣と入力してください。

3 次のコマンドを実行して、ネットワークボードに IP アドレスを設定します。

ping ＜IP アドレス＞　-l 479（Windows をお使いの場合）

ping -s　＜IP アドレス＞　479（Solaris 1.x / 2.x をお使いの場合）
ping　＜IP アドレス＞　479　（IBM-AIX をお使いの場合）
ping　＜IP アドレス＞　487　（HP-UX をお使いの場合）
ping -s 479　＜IP アドレス＞　（Red Hat Linux/LASER5 Linux をお使いの場合）
ping -s 480　＜IP アドレス＞　（Turbolinux をお使いの場合）

IP アドレス：　手順 2 で使用した IP アドレスと同じアドレスを指定します。

入力例（Windows）：　ping 172.20.88.125 -l 479

メモ

- 「-l」の l はアルファベットの l（エル）です。
- サブネットマスク、ゲートウェイアドレスは、［0.0.0.0］に設定されます。

これでプリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

プリンタの操作パネルによる設定

重要
- 以下のプリンタをお使いのときは、プリンタの操作パネルによる設定は行えません。他の方法で行ってください。
  - ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
  - ・CP680/660

1 **プリンタの操作パネルで［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。**

2 **［セットアップ］を押します。**

3 **以下の項目を順に［<］、［>］で選択し、［V］を押します。**

「インタフェース」→「ヒョウジュンネットワーク」→「TCP/IP」→「フレームタイプ」

メモ
- ネットワークに標準対応していないプリンタのときは、「ヒョウジュンネットワーク」の代わりに「カクチョウネットワーク」を選択してください。

4 **［<］、［>］で「ETHERNET 2」を選択し、［V］を押します。**

5 **［<］、［>］で「IP モード」を選択し、［V］を押します。**

6 **プリンタの IP アドレスを設定します。**

● **DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合**

▼ ［<］、［>］で「ジドウ」を選択し、［V］を押します。

▼ ［<］、［>］で「プロトコル」を選択し、［V］を押して「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」のそれぞれを使用する（オン）か使用しない（オフ）かを設定します。

● **プリンタに直接 IP アドレスを割り当てる場合**

▼ ［<］、［>］で「シュドウ」を選択し、［V］を押します。

▼ ［<］、［>］で「IP モード」を選択し、［V］を押して「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定します。

メモ

- 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」は、以下の方法で設定してください。

1. ［<］、［>］で目的のフィールドを選択し、［∨］を押します。
2. ［<］、［>］で目的の数値を選択し、［∨］を押します。
3. すべてのフィールドに対し、1 ～ 2 を繰り返します。

7 **［∧］を 2 回押してから、［<］、［>］で「セッテイトウロク」を選択し、［∨］を押します。**

8 **操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されますので、［∨］を押します。**

2

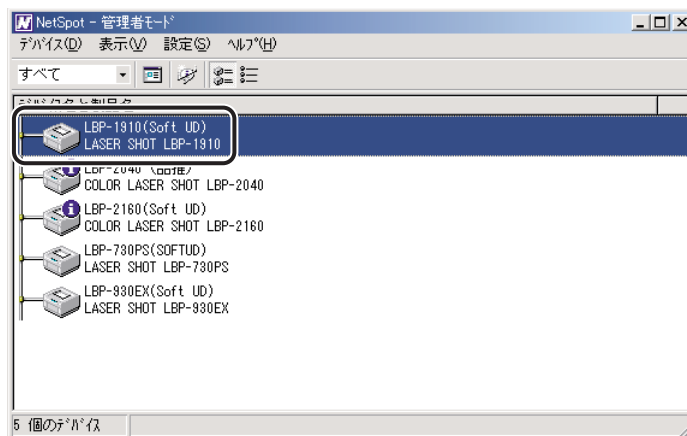
TCP/IPネットワークで使用するには（Windows/UNIX）

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

重要

- NetSpot を使用する場合は、お使いのコンピュータに NetSpot がインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の NetSpot をインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）
- 以下のプリンタをお使いのときは、プリントサーバ NB-5F に付属の CD-ROM をお使いください。その他のプリンタをお使いのときは、プリンタに付属の CD-ROM をお使いください。
  ・LBP-2300/2050/1610/1510
- NetSpot が対応していない OS をお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、FTP クライアント、Web ブラウザを使用して設定を行ってください。

NetSpot による設定

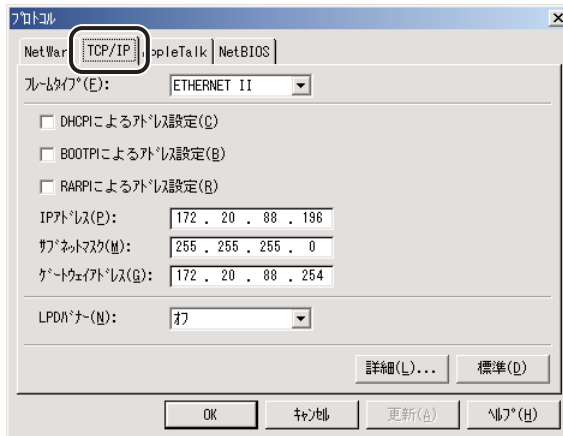
1 **NetSpot を管理者モードで起動します。**

2 **設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。**

プリンタの詳細な情報を表示するウィンドウが表示されます。

3 [ネットワーク] ページを表示して、[プロトコル設定 ...] ボタンをクリックします。

[設定] メニューから [プロトコル ...] を選択しても、同様に [プロトコル] ダイアログボックスが表示されます。

4 [TCP/IP] タブをクリックして、[TCP/IP] ページを表示します。

5 [フレームタイプ] で [ETHERNET II] を選択します。

メモ

- [無効] を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でネットワークボードが認識されなくなります。

- ［無効］にしたプリンタを使用するには、「プリンタのプロトコル設定の準備」（→ P.2-3）を参照してください。

6 プリンタの IP アドレスの設定方法を指定します。

［DHCP によるアドレス設定］、［BOOTP によるアドレス設定］、［RARP によるアドレス設定］のうち、IP アドレスの設定に使用する項目をチェックしてください。

本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。［DHCP によるアドレス設定］、［BOOTP によるアドレス設定］、［RARP によるアドレス設定］のチェックをはずしたときは、その項目のチェックは行われません。

これらがいずれも使用できないときは、［IP アドレス］に設定されている IP アドレスを割り当てます。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは、1 ～ 2 分程度かかります。使用しない項目のチェックをはずしておくことをお勧めします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。

7 ［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定します。

［IP アドレス］には、プリンタの IP アドレスを指定します。

［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ

- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかをお使いの場合でも、［IP アドレス］、［サブネットマスク］、［ゲートウェイアドレス］を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARP のサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定をした場合、本製品の再起動後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされます）。

8 ［LPD バナー］でバナーページ（各プリントジョブの区切りページ）の出力方法を選択します。

自動：	バナーページを出力するように設定されているプリントジョブのときはバナーページを出力し、設定されていないプリントジョブのときはバナーページを出力しません。
オン（最後に挿入）：	プリントジョブのバナーページの出力の設定に関わらず、常にバナーページを出力します。バナーページは最後のページに出力されます。

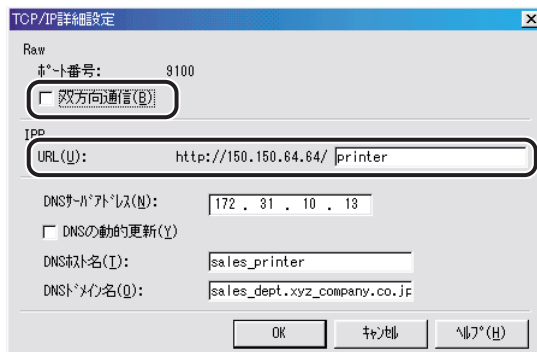
オフ：　プリントジョブのバナーページの出力の設定に関わらず、常にバナーページを出力しません。

メモ
- お使いの OS や LPR によっては､バナーページの出力を設定できないことがあります。このようなときに、［自動］以外に設定することでバナー ページの出力を設定することができます。

9 DNS を使用するときは、［詳細 ...］ボタンをクリックします。

［TCP/IP 詳細情報］ダイアログボックスが表示されます。

DNS を使用しないときは、手順 13 に進みます。

10 ［双方向通信］、［URL］で、Raw と IPP の設定をします。

通常は変更する必要はありません。

11 DNS の設定をします。

▼［DNS サーバアドレス］に DNS サーバの IP アドレスを入力します。

▼［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

メモ
- 本製品では、DNS は以下の場合に使用されます。
  - ・SMTP サーバの名前解決をするとき（電子メール通知機能を利用するとき）
  - ・DNS の動的更新機能を利用するとき（手順 12 で［DNS 動的更新］をチェックしたとき）
- 電子メール通知機能とは、プリンタ状況を電子メールで送信する機能です。この機能を利用するときは、さらに詳細な設定をする必要があり ます。（→プリンタ状況を電子メールで通知する：P.2-43）
- お使いの環境で DNS サーバが利用できないときや DNS サーバを使用しないときは、［DNS サーバアドレス］を入力する必要はありません。

12 DNS の動的更新機能を使用する場合は［DNS の動的更新］のチェックボックスをオンにします。

重要

- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、動的に登録できる DNS サーバ(ダイナミック DNS サーバ)がある環境で使用することができます。
- DNS の動的更新機能を使用するには、DNS サーバの IP アドレスとドメイン名の設定（手順 11）、本製品のホスト名が必要です。
- この機能を使用し、LPR で［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しないでも使用することができるようになります。

13 ［OK］ボタンをクリックします。

［更新］ボタンをクリックしても設定できます。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

Web ブラウザ（リモート UI）による設定

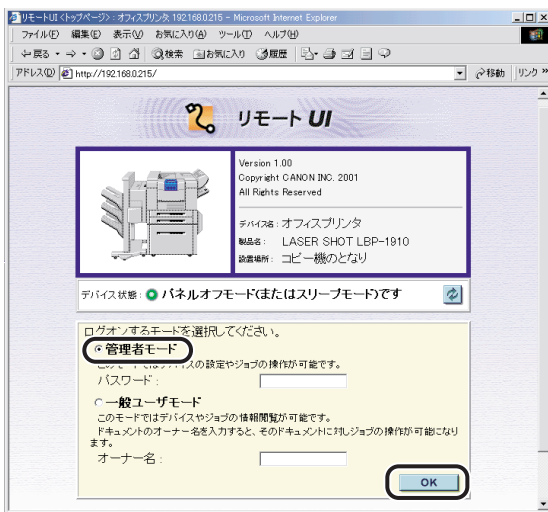
1 Web ブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力して［Enter］キーを押します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /

入力例： http://172.20.88.125/

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0 をお使いの場合は、Netscape Communicator 4.08 で本製品の設定をすることはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。
- プロキシサーバ経由で接続することはできません。プロキシサーバをお使いの環境では、以下のような設定を行ってください。（設定はネットワーク環境によって異なります）
  - ・Web ブラウザのプロキシサーバの設定で、［例外］（プロキシを使用しないアドレス）に本プリンタの IP アドレスを追加します。
- Web ブラウザでクッキー（Cookie）が利用できるように設定してください。
- 同時に複数のリモート UI を起動しているときは、最後に行った設定が有効になります。リモート UI は 1 つだけ起動することをおすすめします。

2 ［管理者モード］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

リモート UI が起動します。

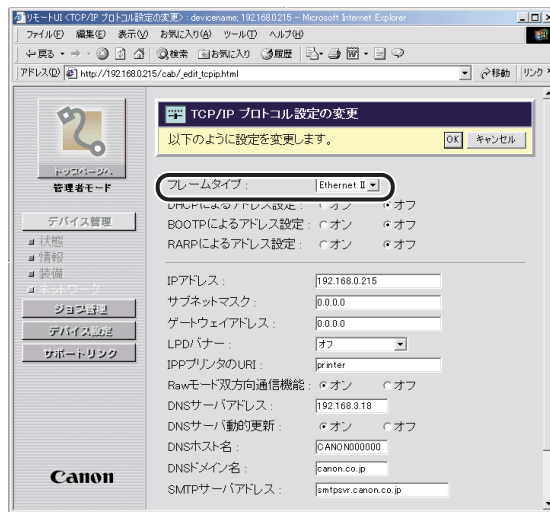
メモ
- プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンをクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 左側の［デバイス管理］のメニューから［ネットワーク］をクリックします。

［ネットワーク］ページが表示されます。

4 ［TCP/IP］の右にある［変更 ...］ボタンをクリックします。

［TCP/IP プロトコル設定の変更］ページが表示されます。

5 ［フレームタイプ］で［Ethernet II］を選択します。

メモ

- ［無効］を選択すると、TCP/IP ネットワーク上でネットワークボードが認識されなくなります。
- ［無効］にしたプリンタを使用するには、「プリンタのプロトコル設定の準備」（→ P.2-3）を参照してください。

6 プリンタのIPアドレスの設定方法を指定します。[DHCPによるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] のうち、IP アドレスの設定に使用する項目を ［オン］ にします。

本製品は、プリンタに直接 IP アドレスを割り当てるほかに、DHCP、BOOTP、RARPのいずれかを使用して IP アドレスを設定することもできます。プリンタの起動時またはリセット時は、DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかを調べ、最初に使用可能とわかった設定方法で IP アドレスを割り当てます。[DHCP によるアドレス設定]、[BOOTP によるアドレス設定]、[RARP によるアドレス設定] を ［オフ］ にしたときは、その項目のチェックは行われません。

これらがいずれも使用できないときは、[IP アドレス] に設定されている IP アドレスを割り当てます。

メモ
- DHCP、BOOTP、RARP が使用可能かどうかのチェックは、1 ～ 2 分程度かかりますので、使用しない項目のチェックをはずしておくことをおすすめします。
- DHCP、BOOTP、RARP を使用して IP アドレスを割り当てるには、DHCP サーバ、BOOTP デーモン、RARP デーモンが起動されている必要があります。

7 [IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定します。

[IP アドレス] には、プリンタの IP アドレスを指定します。[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] には、TCP/IP ネットワークでお使いのものを指定します。

メモ
- DHCP、BOOTP、RARPのいずれかをお使いの場合でも、[IP アドレス]、[サブネットマスク]、[ゲートウェイアドレス] を設定しておいてください。DHCP、BOOTP、RARP のサーバから情報を取得できなかった場合、ここで設定した値を使用します。
- DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用する設定をした場合、本製品の再起動後は、これらから取得した値が表示されます（あらかじめ設定してあった場合は、DHCP、BOOTP、RARP で取得できた項目については上書きされます）。

8 ［LPD バナー］でバナーページ（各プリントジョブの区切りページ）の出力方法を選択します。

自動：	バナーページを出力するように設定されているプリントジョブのときはバナーページを出力し、設定されていないプリントジョブのときはバナーページを出力しません。
オン（最後に挿入）：	プリントジョブのバナーページの出力の設定に関わらず、常にバナーページを出力します。バナーページは最後のページに出力されます。
オフ：	プリントジョブのバナーページの出力の設定に関わらず、常にバナーページを出力しません。

メモ
- お使いの OS や LPR によっては、バナーページの出力を設定できないことがあります。このようなときに、［自動］以外に設定することでバナーページの出力を設定することができます。

9 DNS と電子メール通知機能を使用するときは、［IPP プリンタの URI］、［Raw モード双方向通信機能］で、IPP と Raw の設定をします。

通常は変更する必要はありません。

DNS と電子メール通知機能を使用しないときは、手順 13 に進みます。

10 DNS の設定をします。

▼ ［DNS サーバアドレス］に DNS サーバの IP アドレスを入力します。

▼ ［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： `sales_dept.xyz_company.co.jp`

メモ
- 本製品では、DNS は以下の場合に使用されます。
  - ・DNS の動的更新機能を利用するとき（手順 11 で［DNS 動的更新］を［オン］にしたとき）
  - ・SMTP サーバ名の名前解決をするとき（手順 12 で SMTP サーバを名前で指定したとき）

11 DNS の動的更新機能を使用する場合は［DNS の動的更新］のチェックボックスをオンにします。

重要
- DNS の動的更新とは、デバイスの IP アドレスとホスト名、ドメイン名に指定した名前を自動的に DNS サーバに登録する機能です。この機能は、動的に登録できる DNS サーバ（ダイナミック DNS サーバ）がある環境で使用することができます。
- DNS の動的更新機能を使用するには、DNS サーバの IP アドレスとドメイン名の設定（手順 10）、本製品のホスト名が必要です。
- この機能を使用し、LPR で［DNS ホスト名］と［DNS ドメイン名］を指定することで、本プリンタの IP アドレスを固定しないでも使用することができるようになります。

12 本製品には、紙づまりが起きたときなどにプリンタ状況を電子メールで送信する機能があります。この機能を利用するときは、メールサーバの設定を行います。

● 手順 10 で DNS の設定をしたとき

▼ ［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのサーバ名を入力します。

入力例： mail_server.sales_dept.xyz_ company.co.jp

▼ ［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

● 手順 10 で DNS の設定をしていないとき

▼ ［SMTP サーバアドレス］にメールサーバの IP アドレスを入力します。

▼ ［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名を入力します。

入力例： sales_dept.xyz_company.co.jp

メモ
- この機能を利用するときは、さらに詳細な設定を する必要があります。（→プリンタ状況を電子メールで通知する：P.2-43）

13 [OK] ボタンをクリックします。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に、設定が有効になります。

プリントサーバをリセットするときは、左側の［デバイス管理］の［ネットワーク］をクリックして、[リセット］ボタンをクリックしてください。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

FTP クライアントによる設定

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp ＜プリンタの IP アドレス＞

3 ユーザ名として「root」を入力します。

● **プリンタにパスワードを設定しているとき**

▼ **パスワードを入力します。**

● **プリンタにパスワードを設定していないとき**

▼ **パスワードは入力せずに、[Enter] キーのみを押します。**

メモ

- ユーザ名は「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

4 次のコマンドを実行して config ファイルをダウンロードします。

```
get config
```

5 メモ帳などでダウンロードした config ファイルを編集します。

各項目の説明については、「ネットワーク設定項目一覧」（→ P.7-4）を参照してください。

6 次のコマンドを実行して config ファイルをアップロードします。

```
put config CONFIG
```

7 プリントサーバをリセットするかプリンタを再起動したあとに設定が有効になります。プリントサーバをリセットするときは、次のコマンドを実行します。

```
get reset
```

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

プリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

■ TCP/IP ネットワークに接続する

印刷を行う全コンピュータに TCP/IP クライアントソフトをインストールし、TCP/IP ネットワークが使用できるようにします。詳しくは、OS の説明書を参照してください。

■ プリンタドライバのインストールとプリンタの接続先の設定

印刷をするためには、プリンタに対応したプリンタドライバをインストールし、プリンタの接続先を設定する必要があります。プリンタの接続先の設定は、印刷に使用するプリントアプリケーションによって異なります。以下を参考にして使用するプリントアプリケーションを決めて、必要な作業を行ってください。

- LPD
  - ・TCP/IP で一般的に使用されているプリントアプリケーションです。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/Raw）：P.2-21）
- Raw
  - ・Windows 2000/XP で利用できるプリントアプリケーションです。LPD より高速に印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（LPD/Raw）：P.2-21）
- IPP
  - ・Windows 95/98/Me/2000/XP で利用できるプリントアプリケーションです。HTTP プロトコルを使用してインターネット／イントラネット上のプリンタに印刷できます。プリンタドライバのインストールと接続先の設定を行ってください。（→プリンタの接続方法（IPP）：P.2-35）
- FTP
  - ・FTPクライアントソフトを使用してプリンタにファイルをコピーすることで印刷するプリントアプリケーションです。（→プリンタの管理：P.2-41）

メモ

- ネットワーク上のWindows 2000/XPまたはWindows NTをプリントサーバに設定することでネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。設定手順については、「プリントサーバの設定」（→ P.2-38）を参照してください。
- ハードディスクが装着されているプリンタに印刷するときは、印刷の設定でジョブの処理方法として［保存＋印刷］を選択できます。このとき、プリンタアイコンからジョブを確認すると、プリンタに保存された時点でジョブがなくなりますが、印刷処理は正常に行われます。

プリンタの接続方法（LPD/Raw）

Windows 95/98/Me をお使いの場合

1 プリンタに付属のCD-ROMに入っているLPR Portユーティリティをインストールします。

▼ プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

▼ 画面上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

▼ CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから［開く］を選択します。

▼ ［Lprport］フォルダをダブルクリックします。

▼ ［Setup］アイコンをダブルクリックします。

お使いの環境によっては、［Setup.exe］と表示されます。

▼ インストールプログラムが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行います。

重要
- お使いの環境によっては、CD-ROM をドライブにセットしたときにCD-ROM メニューが表示されます。このときは、[終わる]ボタンをクリックしてから手順 1 を行ってください。

2 プリンタドライバをインストールします。（→ソフトウェアガイド）

● プリンタドライバのインストール中にポートの設定を行う場合

▼ プリンタドライバセットアップウィザードの［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスが表示されたら、手順 3 に進みます。

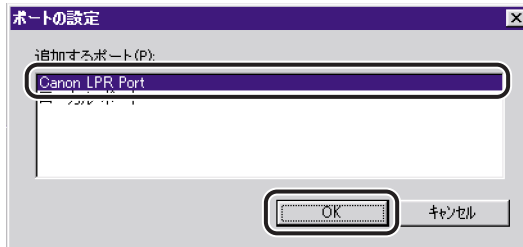
● プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行う場合

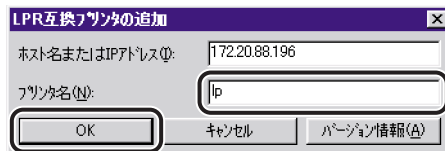
▼ ［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスで［標準のポート］を選択し、［設定］ボタンをクリックしてから、［LPT1］などの任意のポートを選択します。

▼ プリンタドライバのインストールが完了したら、手順 4 に進みます。

3 プリンタドライバのセットアップウィザードでポートの設定を行います。

▼ ［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスの［ポートの設定］で［ポートの追加］を選択し、［設定］ボタンをクリックします。

▼ ［追加するポート］の一覧から［Canon LPR Port］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［ホスト名またはIP アドレス］にプリンタの名前、またはIP アドレスを入力します。

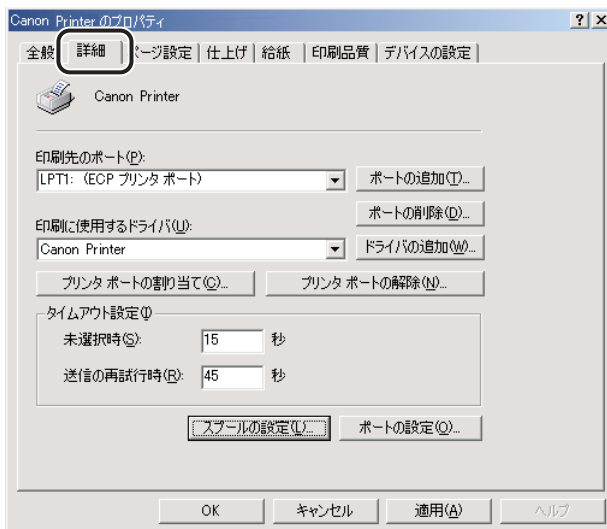
▼ ［プリンタ名］に「lp」と入力して、［OK］ボタンをクリックします。

▼ 引き続き、ソフトウェアガイドの手順に従って、プリンタドライバのインストールを完了させます。

▼ 手順 5 に進みます。

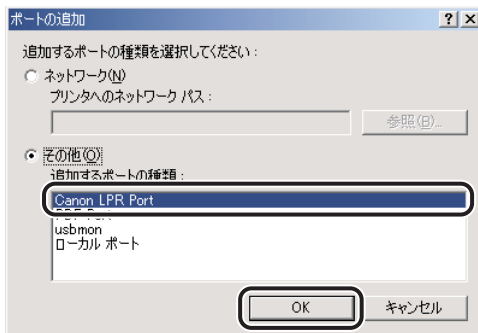
4 プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行います。

▼ ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

▼ 手順 2 でインストールしたプリンタドライバのプリンタアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択します。

▼ ［詳細］タブをクリックして、［詳細］ページを表示します。

▼ ［ポートの追加 ...］ボタンをクリックして、［ポートの追加］ダイアログボックスを表示します。

▼ ［その他］ラジオボタンを選択します。

▼ ［追加するポートの種類］の一覧で［Canon LPR Port］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［ホスト名または IP アドレス］にプリンタの名前または IP アドレスを半角文字で入力します。

▼ ［プリンタ名］に「lp」と入力して［OK］ボタンをクリックします。

重要

- ポートの設定をする前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。
- 上記手順のあと、プリンタと通信してプリンタで利用できる送信モードを調べます。プリンタとの通信に失敗したときは、エラーメッセージが表示されますので、［いいえ］ボタンをクリックしてバイトカウントモードを OFF に設定してください。

5 スプールの設定を行います。

▼ [スプールの設定 ...] ボタンをクリックして、[プリンタ スプールの設定] ダイアログボックスを表示します。

▼ [印刷ジョブをスプールしてプログラムの印刷処理を高速に行う] を選択します。

▼ [OK] ボタンをクリックします。

6 [OK] ボタンをクリックして、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

Windows 2000/XP をお使いの場合

1 プリンタドライバをインストールします。(→ソフトウェアガイド)

● プリンタドライバのインストール中にポートの設定を行う場合

▼ プリンタドライバセットアップウィザードの [プリンタ情報の設定] ダイアログボックスが表示されたら、手順 2 に進みます。

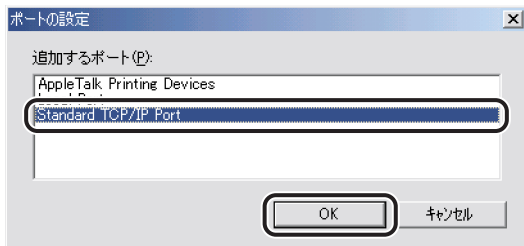
● プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行う場合

▼ [プリンタ情報の設定] ダイアログボックスで [標準のポート] を選択し、[設定] ボタンをクリックしてから、[LPT1] などの任意のポートを選択します。

▼ プリンタドライバのインストールが完了したら、手順 3 に進みます。

2 プリンタドライバのセットアップウィザードでポートの設定を行います。

▼ [プリンタ情報の設定] ダイアログボックスの [ポートの設定] で [ポートの追加] を選択し、[設定] ボタンをクリックします。

▼ ［追加するポート］の一覧から［Standard TCP/IP Port］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が起動しますので、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンタの名前、または IP アドレスを入力して、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ 入力したIP アドレスにプリンタがあることが確認できたときは、［標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されますので、［完了］ボタンをクリックします。

［ポート情報がさらに必要です。］という画面が表示されたときは、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］－［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ 引き続き、ソフトウェアガイドの手順に従って、プリンタドライバのインストールを完了させます。

▼ 手順 4 に進みます。

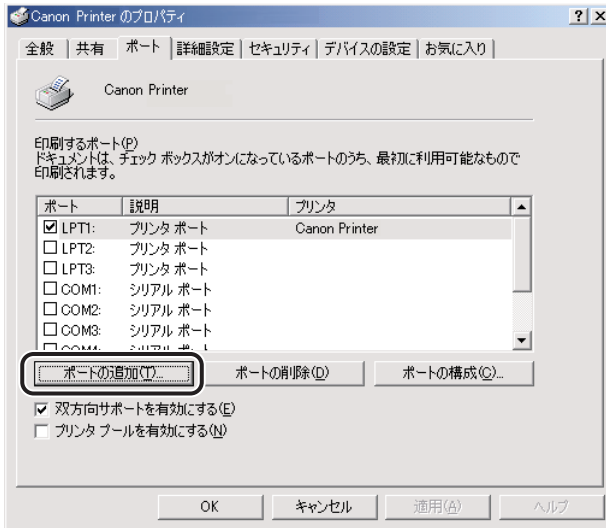
3 プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行います。

▼ ［スタート］メニューから［設定］-［プリンタ］（Windows XP Professional の場合は［プリンタと FAX］）を選択します。

Windows XP Home Edition をお使いの場合は、［スタート］メニューから［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタと FAX］を選択します。

▼ 手順 2 でインストールしたプリンタドライバのプリンタアイコンを右クリックして［プロパティ］を選択します。

▼ ［ポート］タブをクリックして、［ポート］ページを表示します。

▼ ［ポートの追加 ...］ボタンをクリックして、［プリンタポート］ダイアログボックスを表示します。

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

▼ ［利用可能なプリンタポートの種類］から［Standard TCP/IP Port］を選択して、［新しいポート ...］ボタンをクリックします。

［標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザード］が起動します。

▼ ［次へ>］ボタンをクリックします。

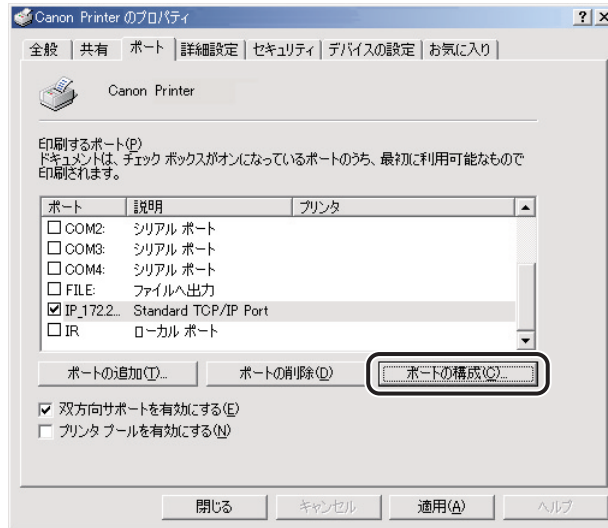
▼ ［プリンタ名または IP アドレス］にプリンタの IP アドレスまたは名前を入力して、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ 入力したIPアドレスにプリンタがあることが確認できたときは、［標準TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了］画面が表示されますので、［完了］ボタンをクリックします。

［ポート情報がさらに必要です。］という画面が表示されたときは、画面の指示に従って再検索を行うか、［デバイスの種類］で［標準］－［Canon Network Printing Device with P9100］を選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ ［閉じる］ボタンをクリックして、［プリンタポート］ダイアログボックスを閉じます。

4 LPD で使用するときはポートの構成情報を変更します。

▼ ［ポートの構成 ...］ボタンをクリックします。

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

▼ ［プロトコル］で［LPR］を選択後に、［LPR 設定］の［キュー名］に「lp」と入力して、［OK］ボタンをクリックします。

メモ
- Raw で使用するときはこの操作は必要ありません。

5 ［OK］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

Windows NT 4.0 をお使いの場合

1 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれているか確認します。

▼ 画面上の［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

▼ ［サービス］タブをクリックして、［サービス］ページを表示します。

メモ
- ［ネットワーク サービス］一覧に［Microsoft TCP/IP 印刷］がないときは手順 2 に、あるときは手順 3 に進みます。

2 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれていないときは、［Microsoft TCP/IP 印刷］を組み込みます。

▼ ［追加 ...］ボタンをクリックします。

▼ ［ネットワーク　サービス］から［Microsoft　TCP/IP 印刷］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

▼ Windows NTのセットアップディスクを要求されますので、ディスクをセットして続行します。

▼ ファイルのコピーが終了すると［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［システム再起動］ボタンをクリックして、Windows NTを再起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。（→ソフトウェアガイド）

● プリンタドライバのインストール中にポートの設定を行う場合

▼ プリンタドライバセットアップウィザードの［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスが表示されたら、手順 4 に進みます。

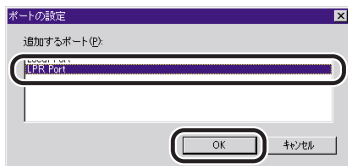
● プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行う場合

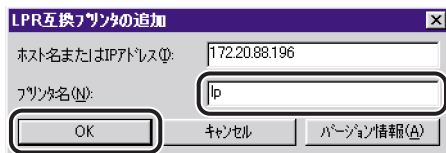
▼ ［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスで［標準のポート］を選択し、［設定］ボタンをクリックしてから、［LPT1］などの任意のポートを選択します。

▼ プリンタドライバのインストールが完了したら、手順 5 に進みます。

4 プリンタドライバのセットアップウィザードでポートの設定を行います。

▼ ［プリンタ情報の設定］ダイアログボックスの［ポートの設定］で［ポートの追加］を選択し、［設定］ボタンをクリックします。

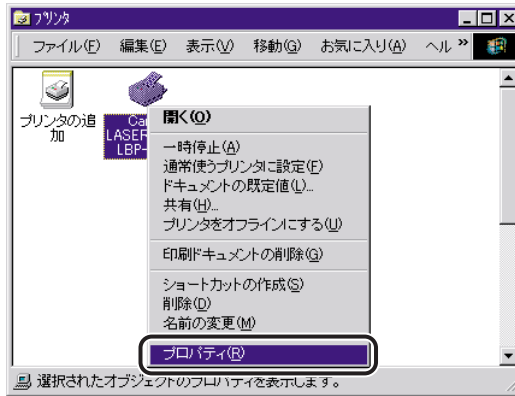
▼ ［追加するポート］の一覧から［LPR　Port］を選択し、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［ホスト名または IP アドレス］にプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

▼ ［プリンタ名］に「lp」と入力して、［OK］ボタンをクリックします。

▼ 引き続き、ソフトウェアガイドの手順に従って、プリンタドライバのインストールを完了させます。

▼ 手順 6 に進みます。

5 プリンタドライバのインストール後にポートの設定を行います。

▼ ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。

▼ ［ポート］タブをクリックして、［ポート］ページを表示します。

▼ ［ポートの追加 ...］ボタンをクリックして、［プリンタポート］ダイアログボックスを表示します。

▼ ［利用可能なプリンタポート］から［LPR Port］を選択して、［新しいポート ...］ボタンをクリックします。

▼ ［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス］にプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

▼ ［サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名］に「lp」と入力して［OK］ボタンをクリックします。

6 ［OK］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

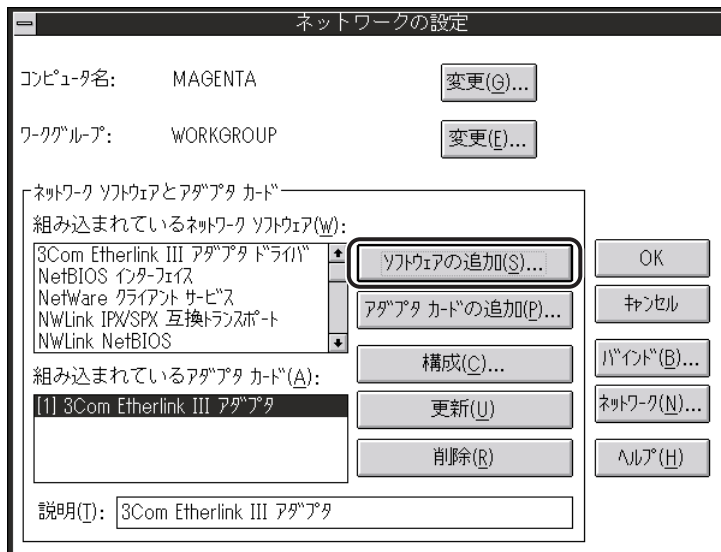
Windows NT 3.51 をお使いの場合

1 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれているか確認します。

▼ ［コントロールパネル］の［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

▼ ［組み込まれているネットワークソフトウェア］に［Microsoft TCP/IP 印刷］がないときは手順 2 に、あるときは手順 3 に進みます。

2 ［Microsoft TCP/IP 印刷］が組み込まれていないときは、［Microsoft TCP/IP 印刷］を組み込みます。

▼ ［ソフトウェアの追加 ...］ボタンをクリックします。

▼ ［ネットワークソフトウェア］から［TCP/IP プロトコルおよび関連コンポーネント］を選択して、［続行］ボタンをクリックします。

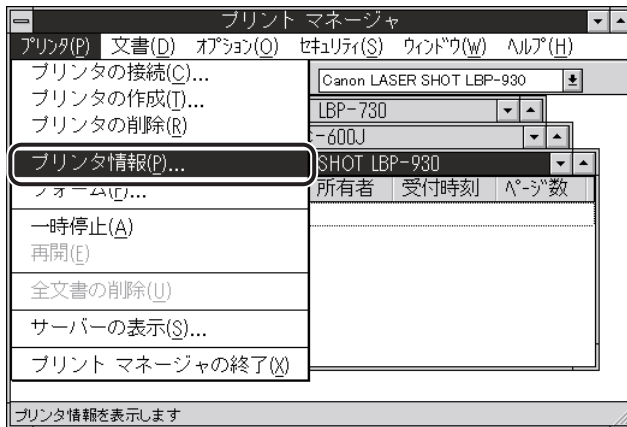
▼ ［TCP/IP ネットワーク印刷サポート］を選択して、［続行］ボタンをクリックします。

▼ Windows NT のセットアップディスクを要求されますので、ディスクをセットして続行します。

▼ ファイルのコピーが終了すると［ネットワークの設定］ダイアログボックスが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［システム再起動］ボタンをクリックして、Windows NT を再起動します。

3 ［プリントマネージャ］を起動します。

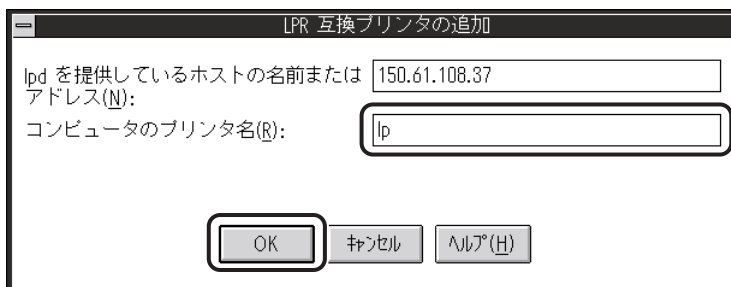
4 印刷に使用するプリンタのアイコンまたはウィンドウを選択して、［プリンタ］メニューから［プリンタ情報 ...］を選択します。

重要
- 印刷に使用するプリンタドライバがインストールされていないときは、はじめにプリンタドライバをインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）

5 次の手順で印刷先の設定をします。

▼ ［印刷先］から［その他 ...］を選択します。

▼ ［利用可能な印刷モニタ］から［LPR Port］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

▼ ［LPR 互換プリンタの追加］ダイアログボックスが表示されますので、［lpd を提供しているホストの名前またはアドレス］にプリンタの名前または IP アドレスを入力します。

▼ ［コンピュータのプリンタ名］に「lp」と入力して、［OK］ボタンをクリックします。

6 ［OK］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

UNIX をお使いの場合

メモ
- ここでは、LPD を使用した印刷についての説明をしています。FTP を使用して印刷する手順については、「プリンタの管理」（→ P.2-41）を参照してください。

1 ワークステーションにスーパーユーザとしてログインします。

2 スプーリングシステムの設定をします。

● **Solaris 1.x をお使いの場合の設定例：**

▼ **/etc/printcap ファイルに次の内容を追加します。**

＜印刷キュー名＞¦＜コメント＞:\

:lp= ＜デバイスのスペシャルファイル＞:\

:sd= ＜スプールディレクトリ＞:\

:rm= ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞:

入力例：
```
print_queue_name|comments:\
:lp=/var/spool/print_queue_name/.null:\
:sd=/var/spool/print_queue_name:\
:rm=printer_host_name:
```

● **Solaris 2.x をお使いの場合の設定例：**

▼ **admintool ユーティリティを起動します。**

▼ **[Browse] → [Printers] を選択します。**

▼ **[Edit] → [Add] を選択して、[Access to Printer...] を選択します。**

▼ **[Printer Name]、[Print Server] に任意の印刷キュー名とプリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。**

▼ **[OK] を選択します。**

● **Red Hat Linux または LASER5 Linux をお使いの場合の設定例：**

▼ **control-panelにあるPrinter Configurationユーティリティを起動します。**

▼ **[追加] → 他の Unix（lpd）のキューを選択して、[OK] を選択します。**

▼ **プリンタ名、リモートホスト、リモートキューに、任意の印刷キュー名、プリンタの IP アドレスまたは名前、「lp」を入力します。**

▼ フィルタを使用する場合は、フィルタを選択します。お使いのプリンタにあったフィルタがないときは、一時的に任意のフィルタを選択して Printer Configuration ユーティリティの終了後、スプールディレクトリにある postscript.cfg ファイルをお使いのプリンタに合わせて変更します。詳しくは ghostscript の説明書を参照してください。

● Turbolinux をお使いの場合の設定例：

▼ turboprintcfg コマンドを実行します。

▼ ［Add］→［Remote LPD Queue］を選択して、［OK］を選択します。

▼ 任意の印刷キュー名を入力して、［Continue］を選択します。

▼ LPD Settings の <Configure...> を選択して、［Remote Host name］、［Remote Queue］に、プリンタの IP アドレスまたは名前と「lp」を入力します。

▼ 最初の画面に戻り［Save & Exit］を選択します。

▼ フィルタを使用しない場合は、/etc/printcap ファイルを開き、追加したプリントキューのセクションにある「:if=」で始まる 1 行を削除します。

▼ フィルタを使用する場合は、スプールディレクトリにある postscript.cfg ファイルをお使いのプリンタに合わせて変更します。詳しくは ghostscript の説明書を参照してください。

● HP-UX をお使いの場合の設定例：

▼ SAM ユーティリティを起動します。

▼ ［Printers and Plotters］メニューの［Printers/Plotters］を選択します。

▼ ［Actions］メニューの［Add Remote Printer/Plotter...］を選択します。

▼ ［Printer Name］、［Remote System Name］に、任意の印刷キュー名とプリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

▼ ［Remote Printer Name］に「lp」と入力します。

▼ ［Remote Printer is on a BSD System］を選択します。

▼ ［OK］を選択します。

● IBM-AIX をお使いの場合の設定例：

▼ SMIT ユーティリティを起動します。

▼ ［印刷スプーリング］→［印刷キューの追加］を選択して、［remote］を選択します。

▼ ［標準処理の追加］を選択します。

▼ ［追加するキュー名］、［リモート・サーバのホスト名］に、任意の印刷キュー名とプリンタの IP アドレスまたは名前を入力します。

▼ リモート・サーバ上の［キュー名］に「lp」と入力します。

▼ リモート・サーバ上の［印刷スプーラタイプ］に「BSD」と入力します。

- admintool ユーティリティ、SAM ユーティリティ、SMIT ユーティリティは、OS に付属のユーティリティです。詳しい使用方法は、各 OS の説明書を参照してください。
- 上記の手順は、設定手順の例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。

これでホストコンピュータの設定は完了しました。

プリンタの接続方法（IPP）

Windows 95/98/Me をお使いの場合

1 **マイクロソフト社から提供される Windows 95/98/Me 用 IPP クライアントソフトをインストールして、コンピュータを再起動します。**

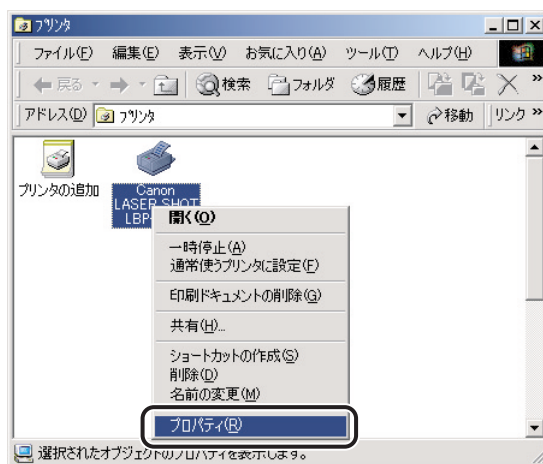
2 **プリンタドライバをインストールします。（→ソフトウェアガイド）**

プリンタの接続先を選択する画面が表示されるときは、[ローカルプリンタ] を選択します。

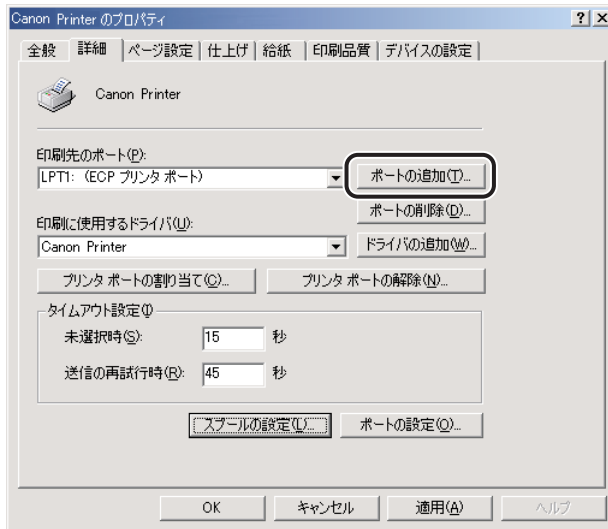
プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1］など任意のポートを選択してください。

3 **プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。**

▼ **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。**

▼ **印刷に使用するプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。**

4 ポートの設定をします。

▼ ［詳細］タブをクリックして、［詳細］ページを表示します。

▼ ［ポートの追加 ...］ボタンをクリックして、［ポートの追加］ダイアログボックスを表示します。

▼ ［ネットワーク］を選択します。

▼ ［プリンタへのネットワーク パス］に以下の URL を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

プリンタの設定で IPP の URL を変更しているときは、変更した URL を入力します。

http:// <プリンタの IP アドレスまたは名前> /printer

5 ［OK］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

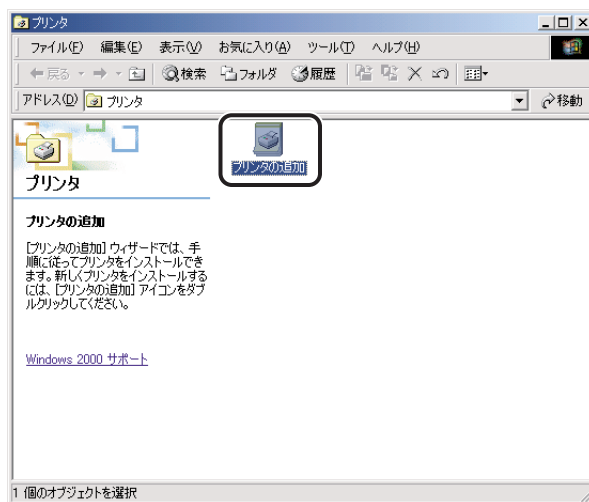
これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

Windows 2000/XP をお使いの場合

1 プリンタの追加ウィザードを起動します。

▼ ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］（Windows XP Professional の場合は［プリンタと FAX］）を選択します。

Windows XP Home Edition をお使いの場合は［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］を選択します。

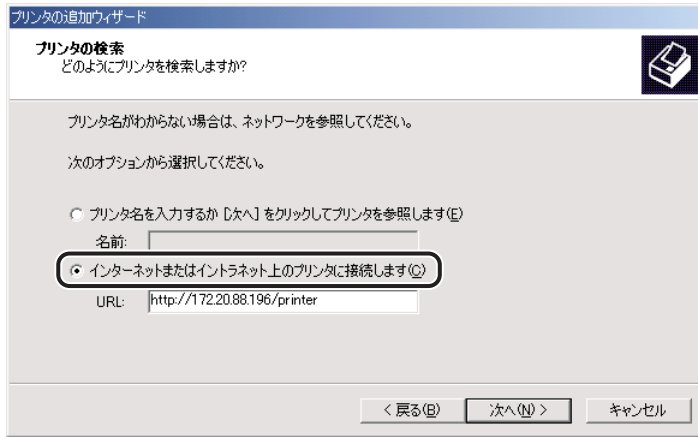
▼ ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

Windows XP をお使いの場合は［プリンタのタスク］から［プリンタのインストール］アイコンをクリックします。

2 プリンタの URL を指定します。

▼ ［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ プリンタの接続方法を選択する画面が表示されますので、［ネットワークプリンタ］（Windows XP の場合は［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］）を選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

▼ **プリンタの検索画面が表示されますので、[インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します]（Windows XP の場合は［インターネット上または自宅／会社のネットワーク上のプリンタに接続する]）を選択します。**

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

▼ **［URL］に以下の URL を入力します。プリンタの設定で IPP の URL を変更しているときは、変更した URL を入力します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /printer

▼ **プリンタの製造元とプリンタ名を選択する画面が表示されますので、[ディスク使用 ...］ボタンをクリックして、CD-ROM ドライブの中のプリンタドライバが入っているフォルダを指定します。**

3 以下、画面の指示に従ってインストールを完了させます。

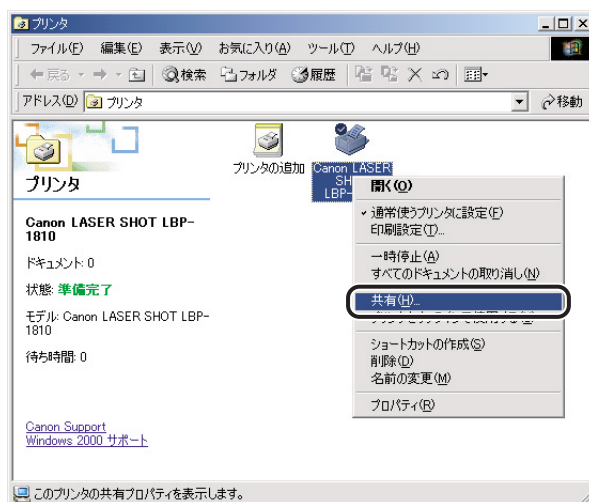
これでプリンタの接続先の設定が完了しました。

プリントサーバの設定

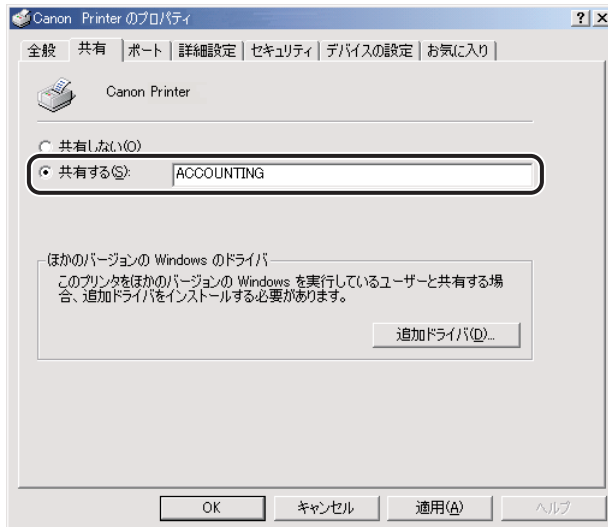
以下の手順で、ネットワーク上の Windows 2000/XP または Windows NT をプリントサーバに設定することで、ネットワークプリンタを効率よく管理できるようになります。プリントサーバを設定すると、プリントジョブはプリントサーバによって管理されます。また、あらかじめプリントサーバに代替ドライバをインストールしておくと、各コンピュータはプリンタドライバをネットワーク経由でインストールできるようになります。

1 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスの［共有］ページを表示します。

▼ ［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］（Windows XP Professional をお使いの場合は［プリンタと FAX］）を選択します。

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを右クリックして、［共有 ...］を選択します。

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

2 共有設定を行います。

▼ ［共有する］（Windows XP の場合は［このプリンタを共有する］）を選択して、任意の共有名を入力します。

上図は Windows 2000 をお使いの場合の画面例です。

［代替ドライバ］（Windows 2000/XP をお使いのときは、［追加ドライバ］ボタン）からインストールするプリンタドライバを選択します。

代替ドライバをインストールするときは、プリンタドライバのファイルの場所を入力する画面が表示されますので、プリンタに付属の CD-ROM をドライブにセットして、プリンタドライバの入っているフォルダを指定します。

▼ ［OK］ボタンをクリックします。

- Windows NT 4.0 をお使いの場合、代替ドライバの機能を利用するためには、Windows NT に Service Pack 5 以降をインストールする必要があります。

これで共有プリンタの設定が完了しました。
他のコンピュータにプリンタドライバをインストールするときは、プリンタウィザードのプリンタの接続先を選択する画面で［ネットワークプリンタ］を選択して、プリントサーバに設定したコンピュータの共有プリンタを選択してください。

プリンタの管理

本製品では、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上からプリンタの状態を調べることやプリンタの設定を行うことができます。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

NetSpot を使用して管理する

NetSpot を使うとネットワーク上のさまざまなプリンタをコンピュータ上から管理できます。（→ソフトウェアガイド）

Web ブラウザ（リモート UI）を使用して管理する

本製品に内蔵されているリモート UIというソフトウェアを使用して、Web ブラウザ上でプリンタの管理をすることができます。

リモート UIの起動方法は「Web ブラウザ（リモート UI）による設定」（→ P.2-13）の手順 1 を参照してください。また、リモート UI の使用方法については「リモート UI ガイド」を参照してください。

メモ
- 「リモート UIガイド」は、Adobe Acrobat Reader を使って画面上に表示、印刷することができるオンライン形式の取扱説明書で、プリンタに付属の CD-ROM に収められています。

FTP クライアントを使用してプリンタを管理する

以下の手順で、FTP クライアントを使用して、プリンタの管理をすることができます。また、FTP クライアントを使うとプリンタからファイルを印刷することや、プリンタのネットワークモジュールのファームウェアのバージョンアップなども行うことができます。

1 MS-DOS プロンプトまたはコマンドプロンプトを起動します。

UNIX をお使いの場合は、コンソール画面を表示します。

2 次のコマンドを実行します。

ftp　<プリンタの IP アドレス>

3 ユーザ名として「root」を入力します。

プリンタにパスワードを設定しているときは、さらにパスワードを入力します。パスワードを設定していないときは、パスワードは入力せずに、[Enter] キーのみを押します。

以下の操作を行うことができます。

- ファイルの印刷： put <印刷するファイル名> PRINTER
- プリンタのネットワークモジュールのリセット： get reset
- 現在の設定値の取得： get config
- 初期設定値の取得： get defaults
- プリンタをファイルの値に設定： put <設定ファイル> CONFIG
- ファームウェアのバージョンアップ： put <ファームウェアのイメージファイル> FLASH

重要

- Windows 用プリンタドライバで作成したファイルなど、バイナリファイルを印刷するときはバイナリモードで印刷してください。

メモ

- ユーザ名は「root」以外（空欄など）でもログインできます。そのときは、設定以外の操作のみ行えます。
- Anonymous ログインはできません。

プリンタ状況を電子メールで通知する

紙づまりが起きたときやトナーがなくなったときなどに電子メールで通知させることができます。

- ジョブ終了時
  - ・印刷が終了したとき（印刷ジョブごとに通知されます）
- デバイスエラー発生時
  - ・紙づまり、用紙切れ、用紙交換要求などのプリンタエラーや、電源を入れなおす必要があるプリンタエラーが発生したとき
  - ・消耗品交換要求時
  - ・トナーなどの消耗品がなくなったときや、交換が必要なとき

例えば、プリンタの上カバーが開いているときに以下のような電子メールを受信できます。

```
From: "TestPrinter" <00:00:85:04:45:67>
To: prt-admin@foo.canon.co.jp
Subject: [DEVICE ERROR] 12 (44013)
Reply-to: net-admin@bar.canon.co.jp
MIME-Version: 1.0
Cotent-Type: text/plain; charset=ISO-2022-JP

エラーが発生しています。
    プリンタの右カバーが開いています。
    プリンタの右カバーをきちんと閉じオンラインキーを押してください。
--------
製品名：LBP-1910.
Page Count：000560
設置場所：○×ビル3階　営業部
連絡先：システム情報部　システム監視課
        佐々木健介　　FAX 03-xxxx-xxxx
```

重要

- 一部のエラーは電子メールで通知されません。
- 電子メールは 15 個まで保存されます。電子メールの送信に失敗したなどの理由で送信する電子メールが 16 個以上になった場合は、古い電子メールから順に削除され、送信されません。
- プリンタ状況を電子メールで通知させるには、Web ブラウザ（リモート UI）を使って、次項の設定を行ってください。
- 以下のプリンタをお使いのときは、ジョブ終了時に電子メールで通知させることはできません。デバイスエラー発生時のみ通知させることができます。
  ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840

メモ

- 設定により一部の状況のみ通知させるようにすることもできます。

電子メール通知機能の設定

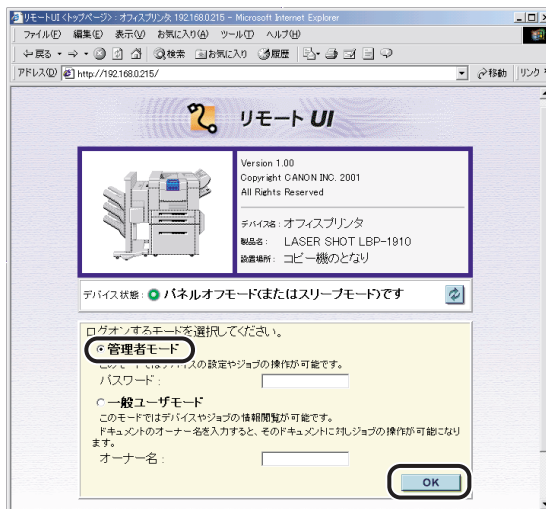
1 **Web ブラウザを起動し、［場所］または［アドレス］に以下の URL を入力して、［Enter］キーを押します。**

http:// ＜プリンタの IP アドレスまたは名前＞ /

入力例： `http://172.20.88.125/`

重要

- Web ブラウザは、Netscape Navigator/Communicator 4.7 以降または Internet Explorer 4.01SP1 以降をお使いください。
- Turbolinux 4.0 をお使いの場合、Netscape Communicator 4.08 で本製品の設定をすることはできません。他のバージョンの Web ブラウザをお使いください。

2 **［管理者モード］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。**

メモ
- プリンタにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してから［OK］ボタンをクリックしてください。パスワードを設定していないときは入力する必要はありません。

3 **左側の［デバイス管理］のメニューから［ネットワーク］をクリックします。**

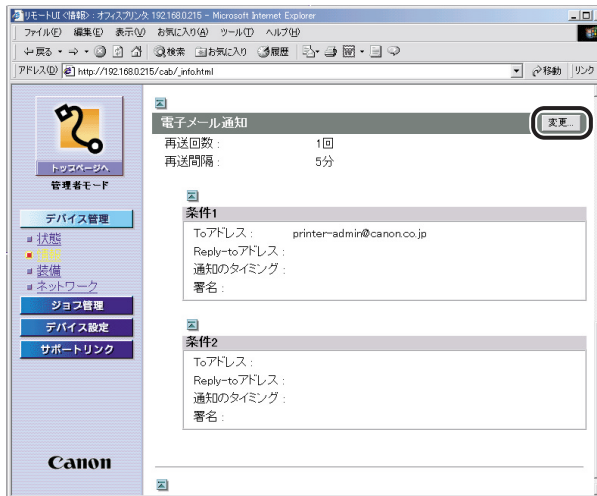
［ネットワーク］ページが表示されます。

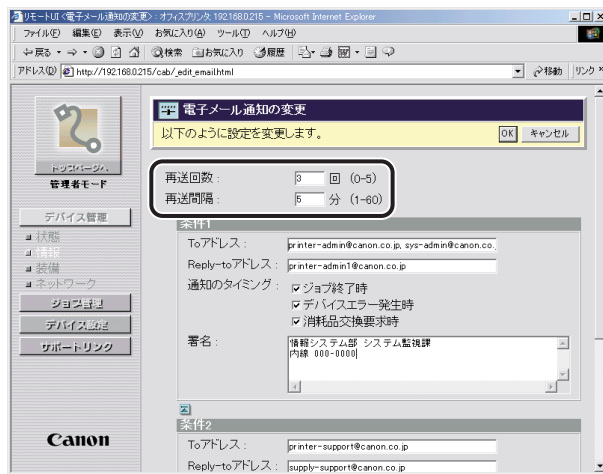
4 **［TCP/IP］の［SMTP サーバアドレス］にメールサーバのアドレスが正しく設定されていることと、［DNS ドメイン名］に本プリンタの所属するドメイン名が正しく設定されていることを確認します。**

メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名が正しく設定されていない場合は、メールサーバのアドレスと本プリンタのドメイン名を設定します。（→ Web ブラウザ（リモート UI）による設定：P.2-13）

5 左側の［デバイス管理］のメニューから［情報］をクリックします。

［情報］ページが表示されます。

6 ［電子メール通知］の右にある［変更 ...］ボタンをクリックします。

［電子メール通知の変更］ページが表示されます。

7 [再送回数]、[再送間隔] に、プリンタ状況を通知するメールの送信に失敗したときに再送する回数と再送するまでの時間を設定します。

8 [条件 1] の各項目を設定します。

To アドレス： プリンタ状況を通知するメールを受信する人のメールアドレスを設定します。「,」で区切ることで複数のメールアドレスを指定できます。
Reply-to アドレス：返信アドレスを設定します。
通知のタイミング： メールによる通知を行う条件を設定します。
署名： メールの本文の最後に表示される文章を設定します。

9 [条件 1] と異なる宛先や異なる条件でプリンタ状況を通知するメールを送信したいときは、[条件 2] も設定します。

10 [OK] ボタンをクリックします。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に、設定が有効になります。

プリントサーバをリセットするときは、左側の [デバイス管理] のメニューから [ネットワーク] を選択して、[リセット] ボタンをクリックします。

これで電子メール通知機能の設定は完了しました。

NetWare ネットワークで使用するには（Windows）

3
CHAPTER

プリンタを NetWare ネットワークに接続して使用するための設定方法について説明しています。

NetWare ネットワークで使用するために必要な作業

NetWare で使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブルの接続(→ネットワークガイド／スタート編)

ネットワークボードをプリンタに取り付け、ネットワークケーブルを接続します。ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 NetWare プリントサービスの設定（→ P.3-3）

NetWare プリントサービスの設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- NWADMIN または PCONSOLE（NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア）

3 プリンタのプロトコル設定（→ P.3-17）

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- NetSpot
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

4 印刷を行うコンピュータの設定（→ P.3-24）

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要 • 手順 1、2、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

NetWare プリントサービスの設定

NetWare ネットワークを使用して印刷するためには、プリントサーバやキューなどのプリントサービスの設定をする必要があります。プリントサービスの設定は、以下のいずれかのソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- NWADMIN または PCONSOLE（NetWare に付属の Novell 社製ソフトウェア）

重要
- NetSpot を使用して設定する場合は、お使いのコンピュータにNetSpotがインストールされている必要があります。管理者用の NetSpot をインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）
- NetSpotが対応していないOSをお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行うか、NWADMINまたはPCONSOLEを使用して設定を行ってください。
- NetSpotまたは NWADMINからプリントサービスの設定を行うときは、クライアントソフトとして Novell Client（Novell 社製の NetWare クライアント）がインストールされている必要があります。
- ここで説明する操作の手順は、NetWare プリントサービスの設定手順例です。お使いの環境によっては、設定手順が異なることがあります。

プリントサービスの種類

プリントサービスの設定をする前に、以下の説明を参考にして使用するプリントサービスの種類を選択してください。

メモ
- 通常は、NetWare 4.xJ 以降をお使いの場合は NDS のプリントサービスを、NetWare 3.xJ をお使いの場合は、バインダリモードのプリントサービスを使用してください。本書ではそれ以外の設定方法について説明していません。
- NetWare 5.xJ では、プリントサービスとして NDPS を使用することもできます。NDPS を使用するときは、ゲートウェイとして NetWare に付属の Novell プリンタゲートウェイを使用してください。本書では NDPS の設定方法は説明していませんので、NetWare の説明書を参照してください。なお、NetSpot では NDPS の設定をすることはできません。NWADMIN を使用して設定を行ってください。

■ NDS（ノベルディレクトリサービス）とバインダリモード

本製品は、NDS とバインダリモードのどちらにも対応しています。お使いのネットワーク環境に応じてどちらのモードを使用するか選択してください。NetWare 3.xJ をお使いの場合は、バインダリモードのみ使用できます。

■ キューサーバモードとリモートプリンタモード

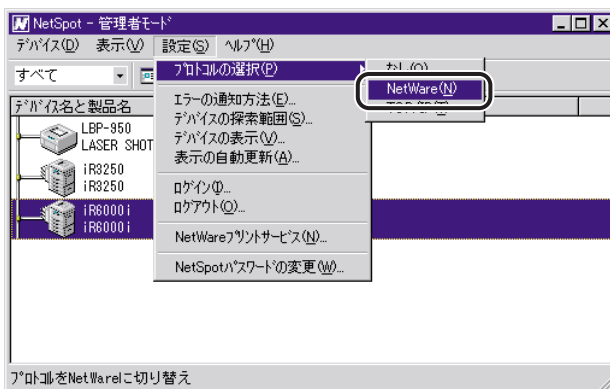
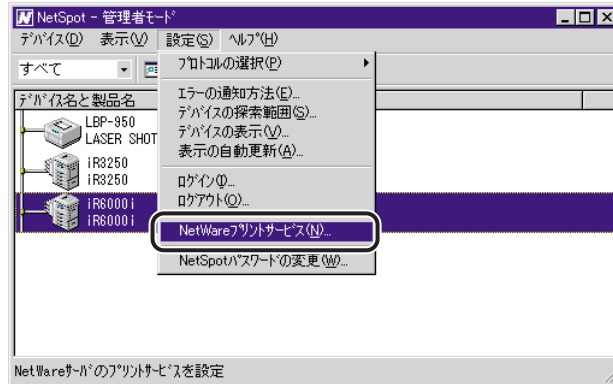
本製品は、キューサーバモードとリモートプリンタモードのどちらにも対応しています。

- **キューサーバモード**
  キューサーバモードで使用する場合、プリントサーバの機能はすべて本製品が備えているため、他にプリントサーバ用のハードウェアやソフトウェアを必要としません。NDSのキューサーバモード（NDS PServer）では、NDS のプリントサーバを使用して印刷します。バインダリのキューサーバモード（Bindery PServer）ではバインダリのプリントサーバを使用して印刷します。
  また、キューサーバモードでは、本製品 1 台につき 1 つの NetWare ユーザライセンスが必要です。
- **リモートプリンタモード**
  リモートプリンタモードで使用する場合、NetWare プリントサーバによって本製品は制御されます。そのため、本製品の他に NetWare プリントサーバが必要になります。NDS のリモートプリンタモード（NPrinter）では NDS のプリントサーバを使用して、バインダリのリモートプリンタモード（RPrinter）ではバインダリのプリントサーバを使用して印刷します。

NetSpot による設定方法

NDSのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 4.xJ 以降）

1 **NetWare に Admin または同等の権利を持つユーザとしてログインし、NetSpot を管理者モードで起動します。**

2 **[設定] メニューから [プロトコルの選択] － [NetWare] を選択します。**

3 ［設定］メニューから［NetWare プリントサービス ...］を選択します。

［NetWare プリントサービス］ダイアログボックスが表示されます。

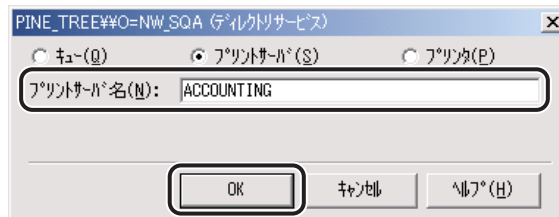
重要

- ［NetWare プリントサービス］メニューが利用できないときは、クライアントソフトとして Novell Client（Novell 社製の NetWare クライアント）がインストールされていることを確認してください。

4 プリントサーバを作成します。

▼ プリントサーバを作成するコンテキストまたは組織ユニットを選択して、［追加 ...］ボタンをクリックします。

▼ ［プリントサーバ］を選択します。

▼ ［プリントサーバ名］に作成するプリントサーバの名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

重要

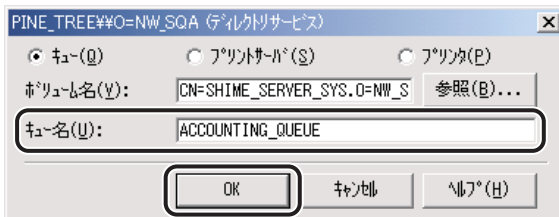
- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。

5 キューを作成します。

▼ キューを作成するコンテキストまたは組織ユニットを選択して、［追加 ...］ボタンをクリックします。

▼ ［キュー］を選択します。

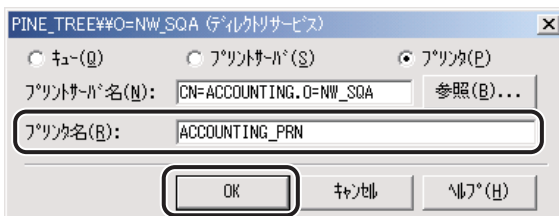
▼ ［参照 ...］ボタンをクリックして、キューを作成するボリュームオブジェクト（ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト）を選択します。

▼ ［キュー名］に作成するキューの名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

6 プリンタを作成します。

▼ プリンタを作成するコンテキストまたは組織ユニットを選択して、［追加 ...］ボタンをクリックします。

▼ ［プリンタ］を選択します。

▼ ［参照 ...］ボタンをクリックして、プリンタに割り当てるプリントサーバを選択します。

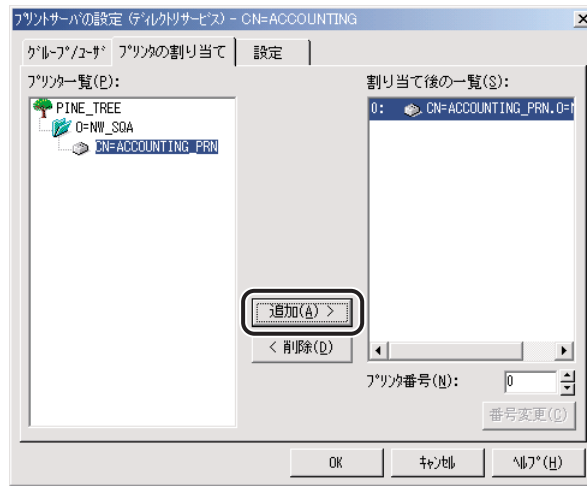
▼ ［プリンタ名］に作成するプリンタの名前を入力して、［OK］ボタンをクリックします。

7 プリントサーバの設定をします。

▼ ［NetWare プリントサービス］ダイアログボックスの一覧から手順 4 で作成したプリントサーバを選択して、［情報 ...］ボタンをクリックします。

プリントサーバが表示されないときは、ツリーやコンテキストをダブルクリックします。

▼ ［プリンタの割り当て］ページを表示します。

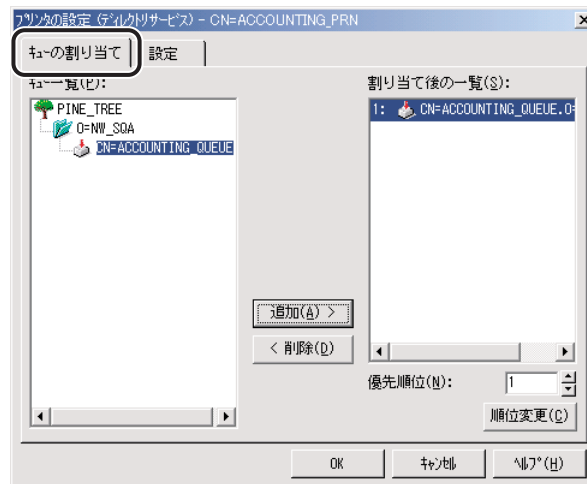
▼ ［プリンター覧］から手順 6 で作成したプリンタを選択して、［追加 >］ボタンをクリックします。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を［0］から変更しないでください。

メモ

- プリントサーバが表示されないときは、ツリーやコンテキストのアイコンをダブルクリックしてください。

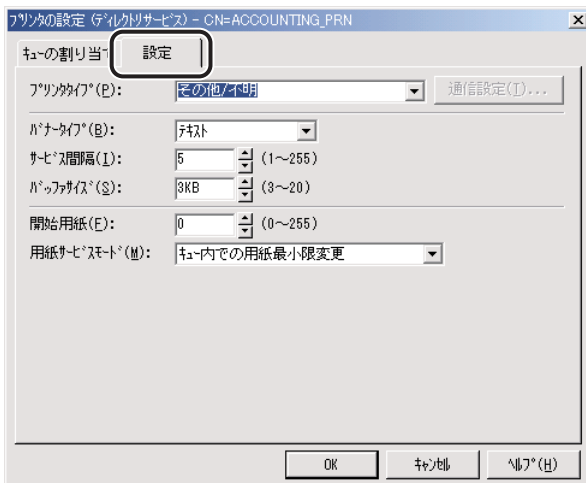
8 プリンタの設定をします。

▼ ［NetWare プリントサービス］ダイアログボックスの一覧から手順 6 で作成したプリンタを選択して、［情報 ...］ボタンをクリックします。

プリンタが表示されないときは、ツリーやコンテキストをダブルクリックします。

▼ ［キューの割り当て］ページを表示します。

▼ ［キュー一覧］から手順 5 で作成したキューを選択して、［追加>］ボタンをクリックします。

▼ 必要に応じて優先順位を変更します。

▼ ［設定］ページを表示します。

▼ キューサーバモードで使用する場合は、［プリンタタイプ］で［その他 / 不明］を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択したあとに、［通信設定 ...］ボタンをクリックして、［ポート］を［LPT1:］に、［接続タイプ］を［手動ロード］に設定します。

▼ 他の項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、［設定］ページの［プリンタタイプ］以外の設定を変更する必要はありません。本製品ではこれらの設定を使用しません。

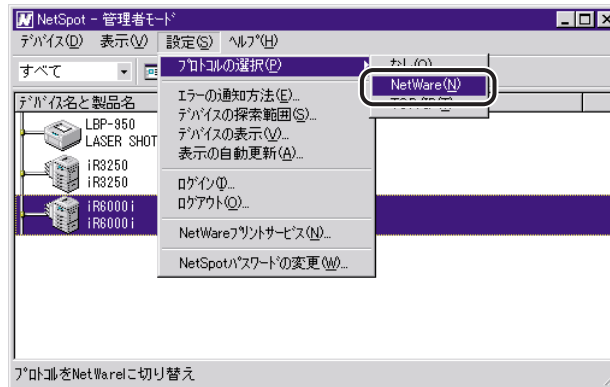
9 リモートプリンタモードで使用する場合は、次の手順でプリントサーバを起動します。

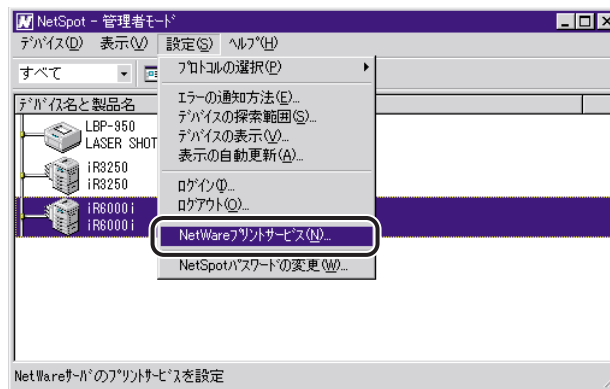
▼ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM」を入力し［Enter］キーを押します。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この手順は必要ありません。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）

バインダリモードのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 3.xJ）

1 **NetWareにSupervisorとしてログインして、NetSpotを管理者モードで起動します。**

2 **[設定] メニューから [プロトコルの選択] − [NetWare] を選択します。**

3 **[設定] メニューから [NetWare プリントサービス ...] を選択します。**

[NetWare プリントサービス] ダイアログボックスが表示されます。

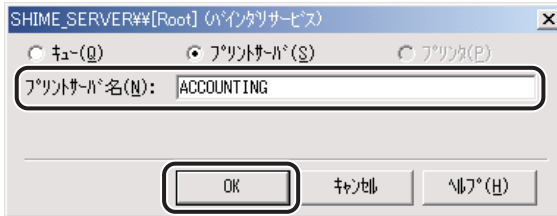
- [NetWare プリントサービス] メニューが利用できないときは、PCONSOLE を使用して設定を行ってください。(→ NWADMIN、PCONSOLE によるプリントサーバの設定 ：P. 3-13)

4 プリントサーバを作成します。

▼ **プリントサーバを作成する NetWare ファイルサーバを選択して、[追加 ...] ボタンをクリックします。**

▼ **[プリントサーバ] を選択します。**

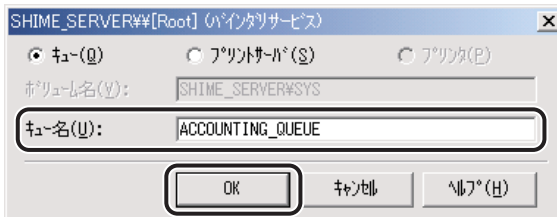
▼ **[プリントサーバ名] に作成するプリントサーバの名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

メモ

- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- 複数の NetWare サーバをお使いで本製品をキューサーバモードで使用する場合、すべての NetWare サーバで同じプリントサーバ名を使用してください。

5 キューを作成します。

▼ **キューを作成する NetWare ファイルサーバを選択して、[追加 ...] ボタンをクリックします。**

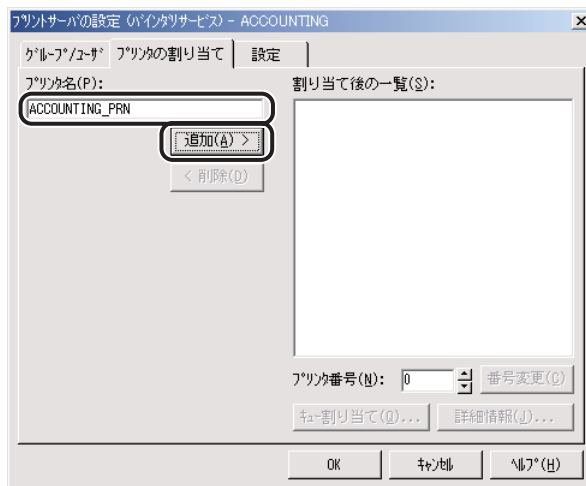
▼ **[キュー] を選択します。**

▼ **[キュー名] に作成するキューの名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。**

6 プリントサーバにプリンタを割り当てます。

▼ **[NetWare プリントサービス] ダイアログボックスの一覧から手順 4 で作成したプリントサーバを選択して [情報 ...] ボタンをクリックします。**

プリントサーバが表示されないときは、NetWare ファイルサーバのアイコンをダブルクリックします。

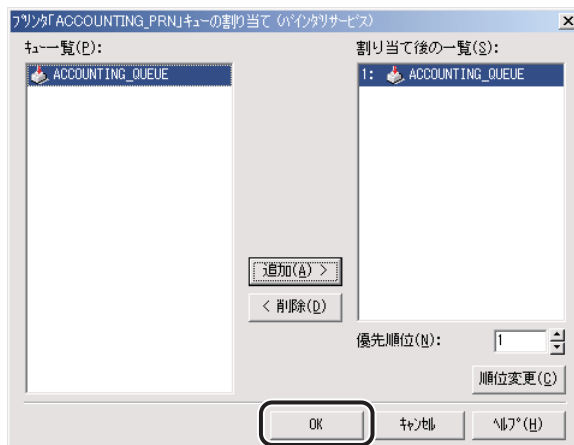
▼ **[プリンタの割り当て] ページを表示します。**

▼ ［プリンタ名］に任意のプリンタの名称を入力して、［追加>］ボタンをクリックします。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を［0］から変更しないでください。

7 プリンタにキューを割り当てます。

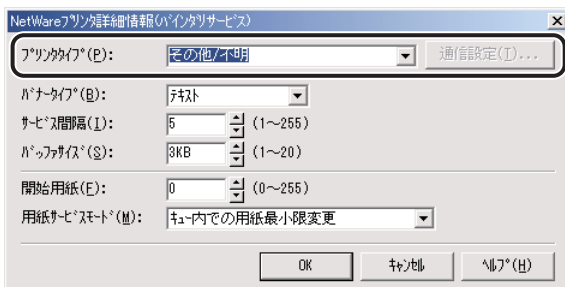
▼ ［キューの割り当て］ボタンをクリックします。

▼ ［キュー一覧］から手順 5 で作成したキューを選択して、［追加 >］ボタンをクリックします。

▼ 必要に応じて優先順位を変更します。

▼ ［OK］ボタンをクリックします。

8 プリンタの設定をします。

▼ ［詳細情報 ...］ボタンをクリックします。

▼ キューサーバモードで使用する場合は、［プリンタタイプ］で［その他 / 不明］を選択します。リモートプリンタモードで使用する場合は、［プリンタタイプ］で［パラレル］を選択したあとに、［通信設定 ...］ボタンをクリックして、［ポート］を［LPT1:］に、［接続タイプ］を［手動ロード］に設定します。

▼ 他の項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、［NetWare 詳細設定］ダイアログボックスの［プリンタタイプ］以外の設定を変更する必要はありません。

9 NetWare 3.xJ をお使いでリモートプリンタモードで使用する場合は、次の手順でプリントサーバを起動します。

▼ 専用のプリントサーバを使用する場合は、そのコンピュータで「PSERVER.EXE」とプリントサーバ名を入力して［Enter］キーを押します。

▼ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM < プリントサーバ名 >」を入力して、［Enter］キーを押します。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この作業は必要ありません。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）

NWADMIN、PCONSOLE によるプリントサーバの設定

NDSのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 4.xJ 以降）

1 **NetWare に Admin または同等の権利を持つユーザとしてログインし、NWADMIN を起動します。**

2 **[クイックセットアップ］を実行します。**

- ▼ **[ツール］メニューの［プリントサービスクイックセットアップ］を選択します。**
- ▼ **[プリントサーバ名］に任意の名前を入力します。既存のものを使用するときは右横のボタンをクリックして一覧から選択します。**
- ▼ **プリンタの［名前］に任意の名前を入力します。**
- ▼ **キューサーバモードで使用するときは、［タイプ］で［その他／不明］を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、［タイプ］で［パラレル］を選択し、［通信 ...］ボタンをクリックして、［ポート］を［LPT1］に［接続タイプ］を［手動ロード］に設定します。**
- ▼ **プリントキューの［名前］に任意の名前を入力します。**
- ▼ **[ボリューム］にキューを作成するボリュームオブジェクト（ネットワーク上の物理ボリュームを表すオブジェクト）を入力します。**

  右横のボタンをクリックすると一覧から選択できます。
- ▼ **他の項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。**

メモ
- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- クイックセットアップを行うと、プリンタ番号［0］にプリンタが割り当てられます。キューサーバモードで使用する場合は、プリンタ番号を［0］から変更しないでください。

3 **リモートプリンタモードで使用するときは、次の手順でプリントサーバを起動します。**

- ▼ **NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM」を入力して、[Enter] キーを押します。**

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この作業は必要ありません。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました。続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）

バインダリモードのキューサーバモード／リモートプリンタモードで使用する場合（NetWare 3.xJ）

1 **NetWare に Supervisor としてログインし、PCONSOLE を起動します。**

2 **プリントサーバを作成していないときは、次の手順でプリントサーバを作成します。**

▼ ［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［Insert］キーを押します。

▼ 作成するプリントサーバの名前を入力して、［Enter］キーを押します。

▼ ［ESC］キーを押して、［利用可能な項目］一覧に戻ります。

メモ
- プリントサーバ名は、プリンタのプロトコル設定で必要になりますので、控えておいてください。
- 複数の NetWare サーバをお使いで本製品をキューサーバモードで使用する場合、すべての NetWare サーバで同じプリントサーバ名を使用してください。

3 **次の手順でキューを作成し、プリントサーバを割り当てます。**

▼ ［利用可能な項目］から［プリントキュー情報］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［Insert］キーを押します。

▼ 作成するキューの名前を入力して、［Enter］キーを押します。

▼ 作成したキュー名を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［キューサーバ］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［Insert］キーを押します。

▼ 手順 2 で作成したプリントサーバを選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［ESC］キーを数回押して、［利用可能な項目］まで戻ります。

4 **プリントサーバにプリンタを割り当てます。**

▼ ［利用可能な項目］から［プリントサーバ情報］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ 手順 2 で作成したプリントサーバを選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［プリントサーバ構成］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ ［プリンタの構成］を選択して、［Enter］キーを押します。

▼ [構成完了プリンタ]一覧でプリンタ番号を選択して、[Enter]キーを押します。キューサーバモードで使用する場合は、[0]のプリンタ番号を選択してください。リモートプリンタモードで使用する場合は、任意のプリンタ番号が選択できます。

5 プリンタの名称やタイプなどを設定します。

▼ [名称]に任意のプリンタ名称を入力して、[Enter]キーを押します。

▼ キューサーバモードで使用するときは、[タイプ]で[定義済み]を選択します。リモートプリンタモードで使用するときは、[タイプ]で[リモートパラレル]を選択して[ポート]を[LPT1]に設定します。

▼ 他の項目を設定して、[ESC]キーを押します。

▼ 確認ボックスが表示されますので、[Yes]を選択して、[Enter]キーを押します。

▼ [ESC]キーを押して、[プリントサーバ構成]一覧に戻ります。

6 プリンタにキューを割り当てます。

▼ [プリンタでサービスされているキュー]を選択して、[Enter]キーを押します。

▼ 手順 5 で設定したプリンタ名を選択して、[Enter]キーを押します。

▼ [Insert]キーを押します。

▼ 手順 3 で作成したキューを選択して、[Enter]キーを押します。

7 [ESC]を数回押すと PCONSOLE の終了確認が表示されますので、[Yes]を選択して、PCONSOLE を終了します。

8 NetWare 3.xJ をお使いでリモートプリンタモードで使用する場合は、次の手順でプリントサーバを起動します。

▼ 専用のプリントサーバを使用する場合は、そのコンピュータで「PSERVER.EXE」とプリントサーバ名を入力して、[Enter]キーを押します。

▼ NetWare ファイルサーバをプリントサーバとして使用する場合は、ファイルサーバで「LOAD PSERVER.NLM < プリントサーバ名 >」を入力して、[Enter]キーを押します。

メモ
- キューサーバモードで使用する場合は、この作業は必要ありません。

これで NetWare プリントサービスの設定は完了しました｡続いてプリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

重要
- NetSpot以外のソフトウェアで設定を行う場合は、お使いのネットワーク環境でTCP/IPプロトコルが使用できる必要があります。ここでは、NetSpot を使用して設定する方法について説明します。他の方法で設定するときは、「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」を参照してください。

プリンタのプロトコル設定の準備

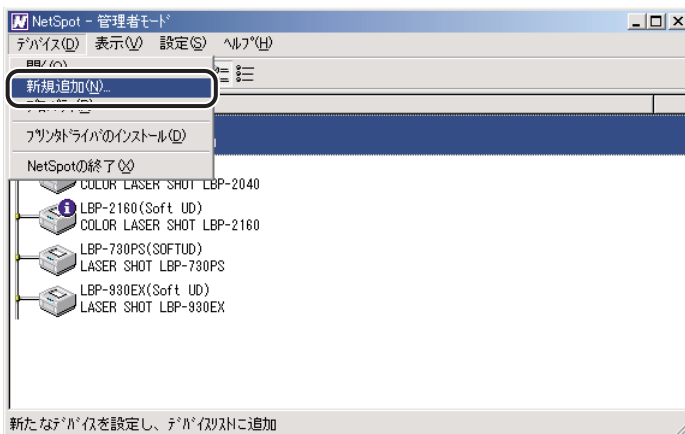
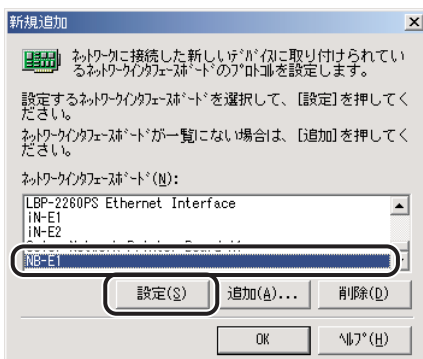
プリンタのプロトコル設定をする前に、以下の手順でプリンタとお使いのコンピュータが通信できるように設定する必要があります。

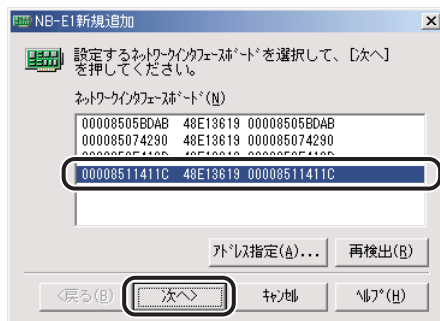
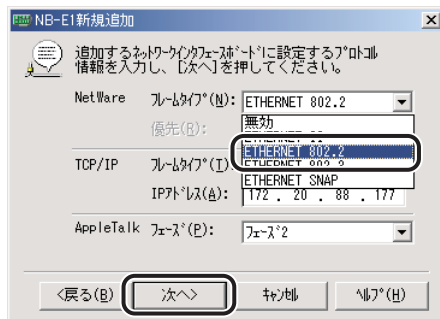
重要
- お使いのコンピュータに NetSpotがインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の NetSpot をインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）
- NetSpotが対応していないOSをお使いの場合は、ネットワーク上にある他のコンピュータから設定を行ってください。
- 以下の作業では、プリンタの MAC アドレスが必要になります。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってコンフィグプリントを実行してください。

  1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］を押します。
  3. ［<］、［>］で「ヒョウジュン N/W プリント」（ネットワークに標準対応していないプリンタのときは「カクチョウ I/F プリント」）を選択し、［∨］を押します。
- 以下の作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

1 NetSpot を管理者モードで起動します。

メモ
- NetSpot 上に設定したいプリンタのアイコンが表示されるときは、プリンタとお使いのコンピュータは正常に通信できていますので、以下の手順は必要ありません。直接プリンタのプロトコル設定を行ってください。（→プリンタのプロトコルを設定する：P.3-20）

2 ［デバイス］メニューから［新規追加 ...］を選択します。

3 ［ネットワークインタフェースボード］からネットワークボード名（［NB-E1］または［NB-5F］）を選択して、［設定］ボタンをクリックします。

［ネットワークインタフェースボード］に検出されたプリンタの MAC アドレスが表示されます。

4 ［ネットワークインタフェースボード］からプリンタの MAC アドレスを選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

5 ［NetWare フレームタイプ］を設定して、［次へ>］ボタンをクリックします。

［NetWare フレームタイプ］は、NetWare ネットワークでお使いのフレームタイプを設定します。

6 ［完了］ボタンをクリックします。

NetSpot にプリンタのアイコンが表示されます。

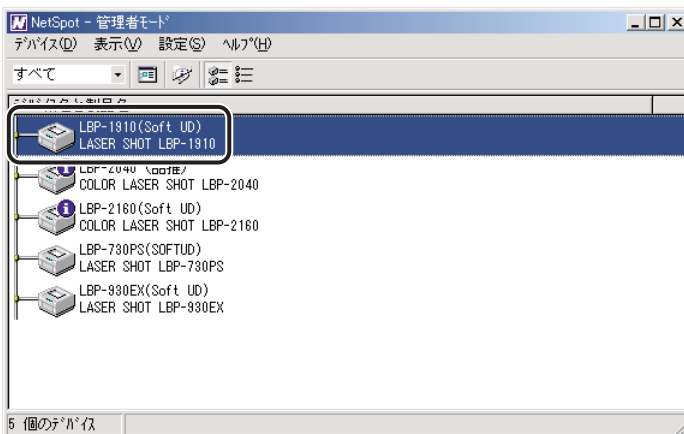
メモ

- プリンタのアイコンが画面上に表示されるまで、およそ 1 分程度かかります。
- プリンタのアイコンが表示されないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

これで、プリンタのプロトコル設定の準備は完了しました。

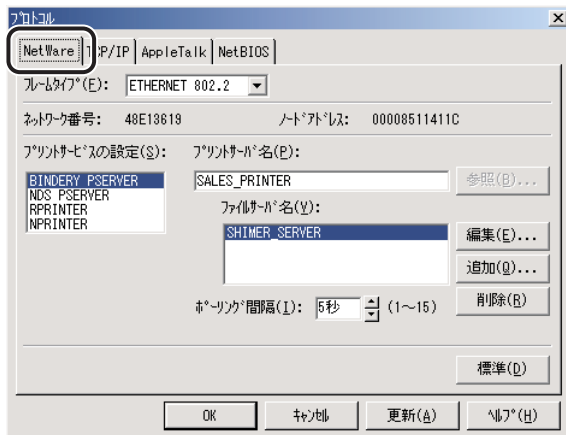
プリンタのプロトコルを設定する

1 **NetSpot を管理者モードで起動します。**

2 **設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。**

プリンタの詳細な情報を表示するウィンドウが表示されます。

3 **［ネットワーク］ページを表示して［プロトコル設定 ...］ボタンをクリックするか、［設定］メニューから［プロトコル ...］を選択します。**

［プロトコル］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［NetWare］タブをクリックして［NetWare］ページを表示します。

5 ［フレームタイプ］を設定します。

フレームタイプは、NetWare ネットワークでお使いのフレームタイプに設定します。

メモ
- ［無効］にしたプリンタを使用する場合は、「プリンタのプロトコル設定の準備」（→ P.3-17）を参照してください。

6 ［プリントサービスの設定］で設定するプリントサービスを選択して、表示する画面を切り換えます。表示した画面に応じて次の設定を行います。

● BINDERY PSERVER を選択した場合：キューサーバモード（バインダリモードのプリントサーバを使用）

▼ **［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバ名を入力します。**

［参照 ...］ボタンをクリックして一覧から選択することもできます。

▼ **［追加 ...］ボタンをクリックしたあと、ファイルサーバを入力または選択して、［OK］ボタンをクリックします。すでに指定してあるファイルサーバの名称を変更するときは、［ファイルサーバ名］でファイルサーバを選択して、［編集 ...］ボタンをクリックします。また、削除するときは、［ファイルサーバ名］でファイルサーバを選択して、［削除］ボタンをクリックします。**

▼ **［ポーリング間隔］を設定します。**

プリンタが NetWare プリントキューの確認をする間隔を設定します。

● NDS PSERVER：キューサーバモード（NDS のプリントサーバを使用）

▼ **［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバ名を入力します。**

［参照 ...］ボタンをクリックして一覧から選択することもできます。

▼ **［ツリー名］、［コンテキスト名］にプリントサーバがあるツリー名、コンテキスト名を入力します。**

コンテキスト名は 255 文字以下にします。

▼ **［ポーリング間隔］を設定します。**

プリンタが NetWare プリントキューの確認をする間隔を設定します。

● **RPRINTER：リモートプリンタモード（バインダリモードのプリントサーバを使用）**

▼ **プリントサーバを追加するため、［追加 ...］ボタンをクリックします。すでに指定してあるプリントサーバの名称を変更するときは［プリントサーバ名］でプリントサーバを選択して［編集 ...］ボタンをクリックします。また、削除するときは［プリントサーバ名］でプリントサーバを選択して［削除］ボタンをクリックします。**

▼ **［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。**

アドバタイジング名は、通常プリントサーバ名と同じ名称に設定されています。

▼ **［プリンタ番号］に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。**

▼ **［OK］ボタンをクリックします。**

● **NPRINTER：リモートプリンタモード（NDS のプリントサーバを使用）**

▼ **プリントサーバを追加するため、［追加 ...］ボタンをクリックします。すでに指定してあるプリントサーバの名称を変更するときは［プリントサーバ名］でプリントサーバを選択して［編集 ...］ボタンをクリックします。また、削除するときは［プリントサーバ名］でプリントサーバを選択して［削除］ボタンをクリックします。**

▼ **［プリントサーバ名］に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で作成したプリントサーバのアドバタイジング名を入力します。**

アドバタイジング名は、通常プリントサーバ名と同じ名称に設定されています。

▼ **プリンタ番号に「NetWare プリントサービスの設定」（→ P.3-3）で設定したプリンタ番号と同じ番号を入力します。**

▼ **［OK］ボタンをクリックします。**

メモ

- ［BINDERY PSERVER］を選択したときは、16 までファイルサーバを指定することができますが、各ファイルサーバ上に同じ名称のプリントサーバを作成しておく必要があります。
- ［RPRINTER］、［NPRINTER］を選択したときは、4 つまでプリントサーバを指定することができます。

7 ［OK］ボタンまたは［更新］ボタンをクリックします。

プリントサーバのリセット後、またはプリンタの再起動後に、設定が有効になります。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

印刷を行うコンピュータの設定

NetWare プリントサービスとプリンタのプロトコル設定が完了したら、各コンピュータの設定を行います。

NetWare ネットワークの接続

印刷を行うすべてのコンピュータに NetWare クライアントソフトをインストールし、NetWare サーバまたはツリーにログインします。接続方法は、NetWare の説明書や OS の説明書を参照してください。

プリンタドライバのインストール

NetSpot は、プリンタとネットワークの設定を行うためのソフトウェアです。印刷にはプリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）

インストールのときは、プリンタの接続先として［ネットワークプリンタ］を選択して、NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューを選択してください。

プリンタの接続先の設定

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択して、プリンタのアイコンを右クリックして［プロパティ］メニューを選択します。［詳細］ページまたは［ポート］ページを表示して、印刷先のポートを NetWare プリントサービスの設定で作成したプリントキューに設定してください。（→ NetWare プリントサービスの設定：P.3-3）

メモ
- プリンタドライバのインストール中にプリンタの接続先を設定した場合は、この作業は必要ありません。

NetBIOS ネットワークで使用するには（Windows 95/98/Me）

NetBIOS ネットワークに接続してプリンタを使用するための方法について説明しています。

NetBIOS ネットワークで使用するために必要な作業

NetBIOS ネットワークで使用するために必要な作業は、次の通りです。

1 **ネットワークボードの取り付けとケーブルの接続（→ネットワークガイド／スタート編）**

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付け、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタでは、ネットワークボードの取り付けは必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 **印刷を行うコンピュータの設定（→ P.4-3）**

印刷を行う各コンピュータの設定を行います。

重要

- 本製品は、NetBIOS over TCP/IP（NetBT）には対応していません。お使いの環境で TCP/IP を使用している場合は、TCP/IP プロトコルを使用して印刷してください。（→第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX））

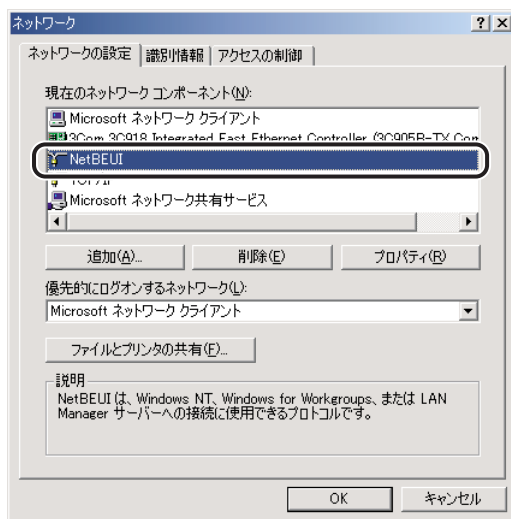
印刷を行うコンピュータの設定

以下の手順で、各コンピュータの設定をします。

NetBIOS ネットワークの接続

印刷を行う各コンピュータにNetBEUIクライアントソフトをインストールする必要があります。NetBEUI クライアントソフトがインストールされているかどうかは、次の手順で確認できます。

1 **画面上の［ネットワークコンピュータ］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を選択します。**

2 **［現在のネットワークコンポーネント］一覧に［NetBEUI］があることを確認します。**

［NetBEUI］がインストールされていないときは［追加 ...］ボタンをクリックしてインストールします。

プリンタに対応したプリンタドライバをインストールする

印刷にはプリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）

インストールのときにプリンタの接続先を選択する画面が表示されるときは、［ローカルプリンタ］を選択します。ネットワークプリンタを選択しないでください。

また、プリンタで使用するポートはインストール後に変更します。ここでは［LPT1:］など任意のポートを選択してください。

プリンタの接続先の設定

以下の手順でプリンタの接続先の設定を行ってください。

---

1 プリンタに付属の CD-ROM に入っている NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティをインストールします。

▼ **プリンタに付属の CD-ROM をドライブにセットします。**

▼ **画面上の［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。**

▼ **CD-ROM ドライブのアイコンを右クリックして、表示されるポップアップメニューから［開く］を選択します。**

▼ **［Portmon］フォルダをダブルクリックします。**

▼ **［Setup］アイコンをダブルクリックします。**

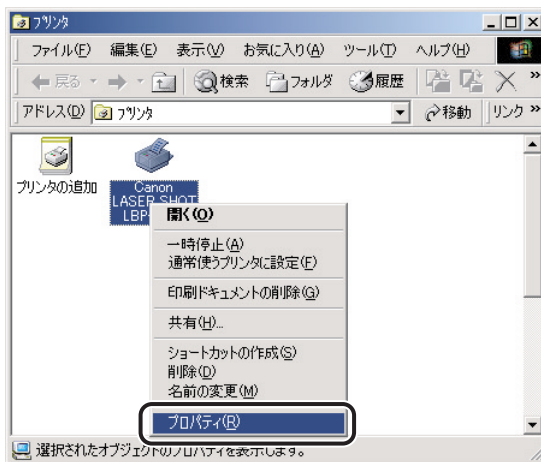
お使いの環境によっては［Setup.exe］と表示されます。

▼ **インストールプログラムが起動しますので、画面の指示に従ってインストールを行います。**

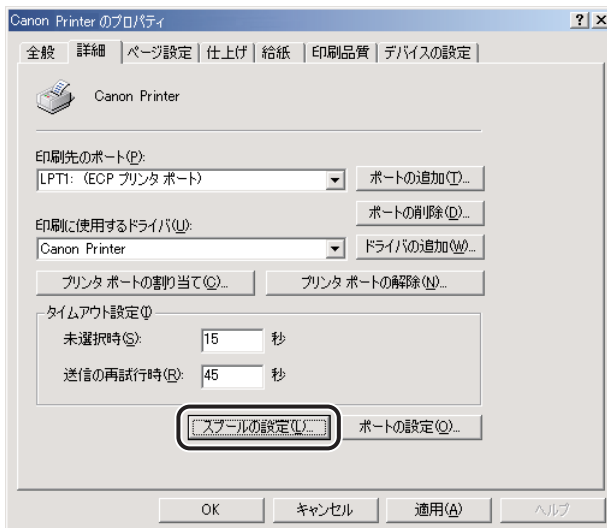
メモ
- お使いの環境によっては、CD-ROM をドライブにセットしたときに CD-ROM メニューが表示されます。このときは、［終わる］ボタンをクリックしてから上記手順を行ってください。

2 プリンタドライバのプロパティダイアログボックスを表示します。

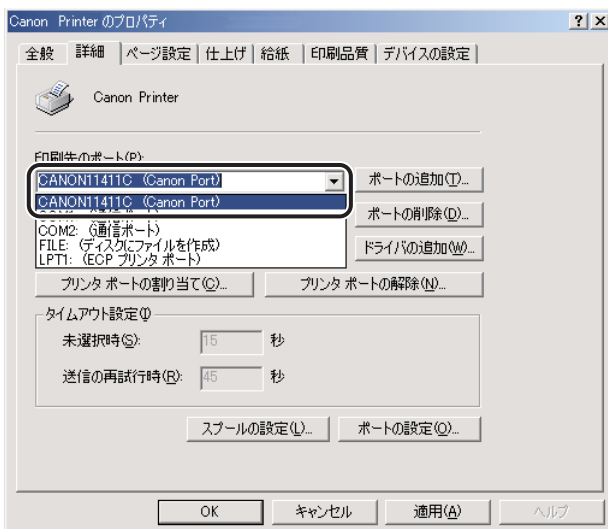
▼ **［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］を選択します。**

▼ 印刷に使用するプリンタのアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。

3 スプールの設定を行います。

▼ [詳細] タブをクリックして、[詳細] ページを表示します。

▼ [スプールの設定 ...] ボタンをクリックして、[プリンタ スプールの設定] ダイアログボックスを表示します。

▼ [印刷ジョブをスプールしてプログラムの印刷処理を高速に行う] を選択します。

▼ [OK] ボタンをクリックします。

4 ［印刷先のポート］で［CANONxxxxxx（Canon Port）］を選択します。

メモ

- xxxxxx は、本製品の MAC アドレスの下 6 桁です。MAC アドレスを確認するには、プリンタの操作パネルで次の作業を行ってコンフィグプリントを実行してください。
  1. ［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。
  2. ［ユーティリティ］を押します。
  3. ［<］、［>］で「ヒョウジュン N/W プリント」（ネットワークに標準対応していないプリンタのときは「カクチョウ I/F プリント」）を選択して、［∨］を押します。
- ［印刷先のポート］に［CANONxxxxxx（Canon Port）］が表示されないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

5 ［OK］ボタンをクリックして、設定を有効にします。

これで印刷を行うコンピュータの設定が完了しました。

AppleTalk ネットワークで使用するには（Macintosh）

5

CHAPTER

AppleTalk ネットワークに接続してプリンタを使用するための設定方法について説明しています。

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業

AppleTalk ネットワークで使用するために必要な作業は、次のとおりです。

1 ネットワークボードの取り付けとケーブルの接続（→ネットワークガイド／スタート編）

（→ネットワークガイド／スタート編）

「ネットワークガイド／スタート編」に従って、ネットワークボードをプリンタに取り付け、ネットワークケーブルを接続します。ただし、ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは、必要ありません。ネットワークケーブルの接続のみを行ってください。

2 Macintosh のネットワークの設定（→ P.5-3）

Macintosh のネットワークの設定を行います。

3 プリンタのプロトコル設定（→ P.5-5）

プリンタのプロトコル設定を行います。以下のいずれかのソフトウェアを使用してコンピュータ上から設定できます。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

4 プリンタドライバのインストール（→ P.5-8）

Macintosh にプリンタドライバをインストールします。

重要
- 上記 1、3 の作業は、ネットワーク管理者が行うことをおすすめします。

Macintosh のネットワークの設定

［セレクタ］と、［コントロールパネル］の［AppleTalk］を使って、Macintosh のネットワークの設定を行います。

1 AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。

▼ Apple メニューから［セレクタ］を選択します。

▼ ［AppleTalk］が［使用］になっていることを確認します。［不使用］になっているときは［使用］をクリックします。

2 AppleTalk 接続方法を Ethernet に設定します。

▼ ［コントロールパネル］の［AppleTalk］を起動します。

▼ ［Ethernet］を選択します。

▼ ［AppleTalk］を閉じて、設定を保存します。

重要 • Local Talk を経由して Ethernet に接続している環境では、［プリンタポート］を選択してください。

5

Apple Talkネットワークで使用するには（Macintosh）

これで Macintosh のネットワークの設定は完了しました。

プリンタのプロトコル設定

プリンタのプロトコル設定は、以下のソフトウェアを使用してお使いのコンピュータ上から設定できます。使いやすい方法で設定してください。ここでは、NetSpot を使用して設定する方法について説明します。

- NetSpot（プリンタに付属のキヤノン製ソフトウェア）
- Web ブラウザ（リモート UI）
- FTP クライアント

重要

- NetSpot以外のソフトウェアで設定を行う場合は、お使いのネットワーク環境でTCP/IPプロトコルが使用できる必要があります。ここでは、NetSpot を使用して設定する方法について説明します。他の方法で設定するときは、「第 2 章　TCP/IP ネットワークで使用するには（Windows/UNIX）」を参照してください。
- お使いのコンピュータに NetSpotがインストールされている必要があります。お使いのコンピュータに管理者用の NetSpot をインストールしてください。（→ソフトウェアガイド）
- 以下の作業を行う前に、プリンタがネットワークに接続されていることと、プリンタの電源が入っていることを確認してください。

1 **NetSpot を管理者モードで起動します。**

2 **設定をするプリンタのアイコンをダブルクリックします。**

設定をするプリンタのアイコンが表示されないときは、「第 6 章　困ったときには」を参照してください。

プリンタの詳細な情報を表示するウィンドウが表示されます。

3 [ネットワーク] ページを表示して、[プロトコル設定 ...] ボタンをクリックします。

［設定］メニューから［プロトコル ...］を選択しても、同様に［プロトコル］ダイアログボックスが表示されます。

4 [AppleTalk] タブをクリックして、[AppleTalk] ページを表示します。

5 [フェーズタイプ] で［フェーズ 2］を選択します。

6 ［名前］にプリンタの名称を入力します。

ここで入力した名称が、Macintosh のセレクタに表示されます。

メモ
- ［名前］は半角 31 文字（全角 15 文字）以下にしてください。

7 ネットワーク上にゾーンが設定してある場合はゾーンを設定します。

重要
- プリンタが同じゾーン内に複数あるときは、それぞれ固有の名前に付けなおしてください。

8 ［OK］ボタンまたは［更新］ボタンをクリックし設定を有効にします。

これでプリンタのプロトコル設定は完了しました。

プリンタドライバのインストール

プリンタのプロトコル設定が完了したら、印刷を行う各 Macintosh にプリンタドライバをインストールして、印刷先の設定を行います。

NetSpot は、プリンタとネットワークの設定を行うためのユーティリティソフトです。印刷には、プリンタに対応したプリンタドライバが必要になります。プリンタドライバをインストールしてください。(→ソフトウェアガイド)

ソフトウェアガイドに従ってプリンタドライバをインストールしたあと、セレクタでプリンタの選択をしたら、Macintosh の設定は完了です。

困ったときには

操作中に起きたトラブルの解決法について説明しています。

NetSpot に関するトラブルとその対処方法

NetSpot に関するトラブルの原因とその対処方法について記載します。

NetSpot でプリンタを認識できない

原因 1 ：ネットワークボードとケーブルが正しく接続されていない。

処　置 ：次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは必要ありません。
- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因 2 ：プリンタの［フレームタイプ］、［IP アドレス］が正しく設定されていない（NetSpot を TCP/IP プロトコルで使用しているとき）。

処　置 ：プリンタで有効になっているプロトコルで NetSpot を使用してください。
そのようなプロトコルがないときは、NetSpot にプリンタを追加してください。
（→プリンタのプロトコル設定の準備：P. 2-3）

原因 3 ：プリンタの［フレームタイプ］が正しく設定されていない（NetSpot を NetWare プロトコルで使用しているとき）。

処　置 ：プリンタで有効になっているプロトコルで NetSpot を使用してください。
そのようなプロトコルがないときは、NetSpot にプリンタを追加してください。
（→プリンタのプロトコル設定の準備：P. 2-3）

原因 4：プリンタがデバイスの探索範囲に指定されていない（NetSpot を TCP/IP プロトコルで使用しているとき）。

処　置：初期状態では NetSpot と異なるサブネットにあるプリンタが認識できないことがあります。また、デバイスの探索範囲を変更した場合、他のプリンタも認識されなくなることがあります。そのときは、次の手順で NetSpot のデバイスの探索範囲を設定します。

- NetSpot を起動し、[設定] ー [デバイスの探索範囲 ...] メニューを選択して [TCP/IP] ページを表示します。NetSpot Macintosh 版をお使いのときは、[設定] ー [デバイスの探索範囲] ー [TCP/IP...] メニューを選択します。
- [探索する範囲を指定しない] を選択すると、NetSpot と同じサブネットにあるプリンタがすべて探索されます。[探索する範囲を指定しない] で認識されないプリンタを探索するときは、[探索する範囲を指定する] を選択して、探索するプリンタの IP アドレスを一覧に追加してください（[255.255.255.255] を追加すると、NetSpot と同じサブネットにあるプリンタがすべて探索されます）。

原因 5：プリンタがデバイスの探索範囲に指定されていない（NetSpot を NetWare プロトコルで使用しているとき）。

処　置：初期状態では NetSpot と異なるネットワーク番号のプリンタが認識できないことがあります。そのときは、次の手順で NetSpot のデバイスの探索範囲を設定します。

- NetSpot を起動して [設定] メニューから [デバイスの探索範囲 ...] を選択します。
- [NetWare] ページで [探索する範囲を指定する] を選択して探索するプリンタのネットワーク番号を一覧に追加します。

原因 6：プリンタがデバイスの探索範囲に指定されていない（NetSpot を AppleTalk プロトコルで使用しているとき）。

処　置：初期状態では NetSpot と異なるゾーンにあるプリンタが認識できません。そのときは、次の手順で NetSpot のデバイスの探索範囲を設定します。

- NetSpot を起動して、[設定] メニューから [デバイスの探索範囲] ー [AppleTalk...] を選択します。
- [デバイスの探索ゾーン範囲] ダイアログで探索するゾーンを指定します。

印刷に関するトラブルとその対処方法

印刷に関するトラブルの原因とその対処方法について説明します。

TCP/IP ネットワークから印刷できない

原因 1：ネットワークボードとケーブルが正しく接続されていない。

処　置：次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認します。(→ネットワークガイド／スタート編)
- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。(→ネットワークガイド／スタート編)

メモ
- ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは必要ありません。

原因 2：TCP/IP ネットワークが正しく設定されていない。

処　置：次のことを確認してください。

- IP アドレスが正しく設定されていることを確認します。DHCP、BOOTP、RARP のいずれかを使用して IP アドレスを設定する場合は、DHCP、BOOTP、RARP が動作していることを確認してください。

原因 3：印刷を行うコンピュータが正しく設定されていない（Windows）。

処　置：次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。Windows 95/98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。(→ソフトウェアガイド)
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、「コントロールパネル」の「プリンタ」または「プリントマネージャ」で確認できます。
- Windows 95/98/Me をお使いの場合は、スプールが正しく設定されていることを確認します。(→プリンタの接続先の設定：P.3-24)

原因 4：印刷するファイル名が長すぎる。

処　置：通常、LPR（Windows NT の場合は「Microsoft TCP/IP 印刷」）は、印刷に使用するアプリケーションソフト名やファイル名を元にしたジョブ名を送信します。しかし、ジョブ名が 255 バイト以上になると正常に送信できなくなります。このときは、印刷するファイル名を短くしてください。

NetWare ネットワークから印刷できない

原因 1 ：ネットワークボードとケーブルが正しく接続されていない。

処　置 ：次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは必要ありません。
- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因 2 ：NetWare ネットワークが正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- NetWare ファイルサーバが起動していることを確認します。
- NetWare ファイルサーバ上に十分なディスクスペースがあることを確認します。十分なディスクスペースがない場合は、サイズの大きいジョブの印刷ができないことがあります。
- NetSpot、NWADMIN、PCONSOLE のいずれかを起動し、プリントキューが正しく設定されていることとプリントキューが使用可能になっていることを確認します。
- プリンタのネットワーク設定が正しく設定されていることを確認します。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）特に、次の点について確認してください。
  - ・［フレームタイプ］で有効なフレームタイプが選択されている。
  - ・［プリントサーバ名］、［プリンタ番号］が正しく設定されている。

原因 3 ：印刷を行うコンピュータが正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- 正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。Windows 95/98/Me から印刷を行うには、各コンピュータにプリンタドライバがインストールされている必要があります。（→ソフトウェアガイド）
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されているか確認します。出力先は、「コントロールパネル」の「プリンタ」または「プリントマネージャ」で確認できます。

原因 4 ：NetWare サーバから他のサブネットにあるプリンタにデータを送信できない。

処　置 ：NetWare サーバからプリンタにデータを送信するときは、NCP バーストモードでデータを送信しますが、お使いのネットワーク環境によっては他のサブネットにあるプリンタへのデータの送信に失敗することがあります。このときは、プリンタのプロトコル設定で NCP バーストモードをオフにしてお使いください。NCP バーストモードは NetSpot では設定できませんので、Web ブラウザ、FTP クライアントを使用して設定してください。（→プリンタのプロトコル設定：P.3-17）

NetBIOS ネットワークから印刷できない、または［印刷先のポート］に印刷するプリンタのポート名が表示されない

原因 1 ：ネットワークボードとケーブルが正しく接続されていない。

処　置 ：次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

メモ

- ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは必要ありません。
- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因 2 ：印刷するコンピュータとプリンタが異なるサブネットにある。

処　置 ：本製品は、NetBEUI プロトコルを使用して印刷を行うため、印刷するコンピュータとプリンタの間にルータがあるネットワーク環境では印刷できません。他のプロトコルを使用して印刷するか、ルータを経由しないプリンタに印刷してください。

原因 3 ：印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- 各コンピュータに正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。プリンタドライバのインストール方法については、「ソフトウェアガイド」を参照してください。
- 印刷を行うコンピュータの出力先が正しいプリンタに設定されていることと、スプールが正しく設定されていることを確認します。（→プリンタの接続先の設定：P.3-24）

AppleTalk ネットワークから印刷できない

原因 1 ：ネットワークボードとケーブルが正しく接続されていない。

処　置 ：次のことを確認し、プリンタの電源を入れなおしてください。

- ネットワークボードが正しく取り付けられていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

メモ

- ネットワークに標準対応しているプリンタではネットワークボードの取り付けは必要ありません。
- プリンタがネットワークに正しいケーブルを使って接続されていることを確認します。（→ネットワークガイド／スタート編）

原因 2 ：AppleTalk ネットワークが正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- NetSpot の［プロトコル］ダイアログボックスの［AppleTalk］ページの各項目が正しく設定されていることを確認します。特に、次の点を確認してください。
- ［フェーズタイプ］で有効なフェーズタイプが設定されている。
- ［ゾーン］でプリンタの存在するゾーンが選択されている。

原因 3 ：印刷を行うコンピュータの設定が正しく設定されていない。

処　置 ：次のことを確認してください。

- ［セレクタ］で正しいプリンタドライバがインストールされていることを確認します。
- ［セレクタ］で印刷先が正しいプリンタに設定されていることを確認します。
- ［セレクタ］で AppleTalk が使用可能になっていることを確認します。
- ［コントロールパネル］の［ネットワーク］または［AppleTalk］で AppleTalk の接続方法が EtherTalk または Ethernet になっていることを確認します。

付録

その他の知っておいていただきたい情報や参考となる情報について説明します。

ソフトウェアを削除するには

Windows 95/98/Me にインストールした LPR Port ユーティリティ、NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティを削除するときは、以下の手順で行ってください。

メモ
- NetSpot を削除するときは、ソフトウェアガイドを参照してください。

LPR Port ユーティリティの削除

1 プリンタドライバの［印刷先のポート］を［CANON LPR Port］以外に設定します。

印刷先のポートは、プリンタのプロパティダイアログボックスの［詳細］シートで設定できます。

［CANON LPR Port］は、画面上には［172.20.88.125@LP（Canon LPR Port)］のように表示されます。

2 プリンタに付属の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

3 CD-ROM の中の［Lprport］フォルダにある［Uninstlp］を起動します。

4 画面に表示されるメッセージに従って LPR Port ユーティリティを削除します。

NetBIOS/NetBEUI Port Monitor ユーティリティの削除

1 ［スタート］メニューから［設定］－［コントロールパネル］を選択します。

2 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

3 ソフトウェアの一覧から削除するソフトウェアを選択して［追加と削除...］ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されます。

4 ［はい］ボタンをクリックします。

ソフトウェアが削除されます。

7

付録

ネットワーク設定項目一覧

NetSpot、Webブラウザ（リモートUI）、FTPクライアントを使用すると本製品の設定を変更することができます。変更できる設定項目は以下のものになります。

メモ
- 以下の一覧で、カッコ内に記載されている情報は、FTPクライアント固有のものです（例：「デバイス名（DEVICE_NAME）」は、NetSpot、Webブラウザでは［デバイス名］と表示され、FTPクライアントのconfigファイルでは[DEVICE_NAME]と表示されます）。
- 項目名の最後に * が付いているものはNetSpotでは設定できません。Webブラウザ（リモートUI）、FTPクライアントで設定してください。

■ 一般設定

項目名	内容	初期値
デバイス名（DEVICE_NAME）	デバイスの名称（0～32文字）	（空欄）
設置場所（SYS_LOC）	デバイスの設置場所（0～32文字）	（空欄）
管理者名（SYS_CONTACT）	デバイスの管理者の名前（0～32文字）	（空欄）
管理者パスワード（ROOT_PWD）	デバイスのパスワード（0～15文字）	（空欄）
一般ユーザによるジョブ操作（USER_JOB_CONT） *	一般ユーザモードでのプリンタジョブ操作を許可するかどうか	（オフ）
再送回数（EMAIL_RETRY） *	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの最大再送回数	0
再送間隔（EMAIL_DELAY） *	電子メール通知機能でメール送信に失敗したときの再送までの時間	5
Toアドレス（EMAIL_ADDR） *	電子メール通知機能でメールを送信する宛先	（空欄）
Reply-toアドレス（EMAIL_REPLY） *	電子メール通知機能で送信するメールの返信アドレス	（空欄）
通知のタイミング（EMAIL_NOTIFY） *	電子メール通知機能でメールを送信する条件	（すべてオフ）
署名（EMAIL_SIG） *	電子メール通知機能で送信するメールの署名	（空欄）
リンク先（LINK_NAME） *	リモートUIのサポートリンクページに表示されるリンク先	（空欄）
URL（LINK_URL） *	リモートUIのサポートリンクページに表示されるURL	（空欄）

項目名	内容	初期値
コメント （LINK_COMMENT）*	リモート UI のサポートリンクページに表示されるコメント	（空欄）

■ TCP/IP 設定

項目名	内容	初期値
フレームタイプ （TCP_FRAME_TYPE）	TCP/IP で使用しているフレームタイプ	Ethernet II
DHCP によるアドレス説明 （DHCP_ENB）	IP アドレスの設定に DHCP を使用するかどうか	（オフ）
BOOTP によるアドレス説明 （BOOTP_ENB）	IP アドレスの設定に BOOTP を使用するかどうか	（オフ）
RARP によるアドレス説明 （RARP_ENB）	IP アドレスの設定に RARP を使用するかどうか	（オフ）
IP アドレス（INT_ADDR）	プリンタの IP アドレス	192.168.0.215
サブネットマスク （NET_MASK）	サブネットマスク	0.0.0.0
ゲートウェイアドレス （DEF_ROUT）	ゲートウェイアドレス	0.0.0.0
LPD バナー（LPD_BANN）	LPD で印刷するときのバナーページの出力方法	オフ
IPP プリンタの URI （IPP_PRT_URI）	IPP で印刷するときの URI（1 〜 255 文字）	printer
Raw の双方向通信機能 （RAW_BIDIR_ENB）	Raw で印刷するときに双方向通信をサポートするかどうか	（オフ）
DNS サーバアドレス （DNS_ADDR）	DNS サーバの IP アドレス	0.0.0.0
DNS 動的更新 （DDNS_ENB）	本デバイスを DNS に動的に登録するかどうか	オフ
DNS ホスト名 （HOST_NAME）	本デバイスのホスト名	（空欄）
DNS ドメイン名 （DOMAIN_NAME）	本デバイスの所属するドメイン名	（空欄）
SMTP サーバアドレス （SMTP_ADDR）	メールサーバの IP アドレスまたは名前	（空欄）
TCP 印刷の制御 （TCP_CONT_ENB）	印刷できるユーザを制限するかどうか	（オフ）

項目名	内容	初期値
TCP 印刷制御モード（TCP_CONT_MODE）	指定した IP アドレスからの印刷を許可するかどうか	（許可）
TCP 印刷制御する IP アドレスリスト（TCP_CONT_LIST）	TCP 印刷の制限に指定した IP アドレス	（空欄）

■ **NetWare 設定**

項目名	内容	初期値
フレームタイプ（NW_FRAME_TYPE）	NetWare で使用しているフレームタイプ	802.2
NCP バーストモード（NCP_BURST_MODE）*	NCP バーストモードを使用するかどうか（通常はオンにしてください）	（オン）
Bindery PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_BINDERY_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
ファイルサーバ名（PSERVER_BINDERY）	NetWare プリントサーバがある NetWare ファイルサーバ名	（空欄）
ポーリング間隔（BINDERY_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 15 秒）	5
NDS PServer		
プリントサーバ名（PSERVER_NDS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
ツリー名（PSERVER_NDS_TREE）	NetWare プリントサーバがある NDS ツリー名	（空欄）
コンテキスト名（PSERVER_NDS_CONTEXT）	NetWare プリントサーバがあるコンテキスト名（1 ～ 255 文字）	（空欄）
ポーリング間隔（NDS_JOB_CHECK_DELAY）	ジョブを確認する間隔（1 ～ 255 秒）	5
RPrinter		
プリントサーバ名（RPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
プリンタ番号（RPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 15）	0
NPrinter		

項目名	内容	初期値
プリントサーバ名（NPRINTER_PS_NAME）	使用する NetWare プリントサーバ名	（空欄）
プリンタ番号（NPRINTER_NO）	NetWare プリントサーバに接続しているプリンタの番号（0 ～ 254）	0

■ NetBIOS 設定

項目名	内容	初期値
ベースプロトコル（LSLM_ENB）	通信に使用しているプロトコル（NetBIOS を使用するかどうか）	NetBEUI（オン）

■ AppleTalk 設定

項目名	内容	初期値
フェーズタイプ（ATLK_ENB）	使用しているフェーズタイプ（AppleTalk を使用するかどうか）	フェーズ 2（オン）
名前（APRINT_1）	セレクタ上に表示される名前（1 ～ 31 文字）	「CANON」+ MAC アドレスの下 6 桁
ゾーン（ATK_ZONE）	プリンタのゾーン名	＊

ネットワーク設定に利用できるソフトウェア

本製品のネットワーク設定は、以下を使用して行うことができます。

設定の種類	NetSpot	Web ブラウザ（リモート UI）	FTP クライアント	ARP/PING コマンド	プリンタの操作パネル
NetWare プロトコル設定の準備（→ P.3-17）	○	×	×	×	×
NetWare プロトコル設定（→ P.3-17）	○	○	○	×	×
TCP/IP プロトコル設定の準備（→ P.2-3）	○	×	×	○	○
TCP/IP プロトコル設定（→ P.2-9）	○	○	○	×	×
NetBIOS プロトコル設定	○	○	○	×	×
AppleTalk プロトコル設定（→ P.5-5）	○	○	○	×	×
電子メール通知機能の設定（→ P.2-44）	×	○	○	×	×

ネットワーク設定の初期化

本製品のネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すときは、プリンタの操作パネルから以下の手順を行ってください。

重要
- 以下のプリンタをお使いのときは、プリンタの操作パネルからネットワーク設定を工場出荷時の値に戻すことはできません。
  ・LBP-2260/2200/2040/910/880/870/840
  ・CP680/660

メモ
- ネットワーク設定の初期化は、プリンタの操作パネルから行う方法の他に、以下のソフトウェアを使用して行うこともできます。
  ・NetSpot：　初期化の手順は NetSpot のヘルプを参照してください。
  ・Web ブラウザ（リモート UI）：　リモート UI ガイドを参照してください。
  ・FTP クライアント：　「FTP　クライアントを使用してプリンタを管理する」（→ P.2-41）を参照してください。

---

1 **プリンタの操作パネルの［オンライン］を押して、オンラインランプを消灯します。**

2 **［セットアップ］キーを押します。**

3 **以下の項目を順に［<］、［>］で選択し、［V］を押します。**

「インタフェース」→「ヒョウジュンネットワーク」→「セッテイショキカ」

メモ
- ネットワークに標準対応していないプリンタのときは、「ヒョウジュンネットワーク」の代わりに「カクチョウネットワーク」を選択してください。

4 **操作パネルに「ジッコウシマスカ？」と表示されますので、［V］を押します。**

索引

英数字

7
付録

か

さ

た

な

は

ら

ソフトウェアのバージョンアップについて

プリンタドライバなどのソフトウェアに関しては、今後、機能アップなどのためのバージョンアップが行われることがあります。バージョンアップ情報及びソフトウェアの入手窓口は次のとおりです。ソフトウェアのご使用にあたっては、各使用許諾契約の内容について了解いただいたものとさせていただきます。

情報の入手方法

インターネット、ＦＡＸ情報サービス、パソコン通信を利用して、バージョンアップなど、製品に関する情報を引き出すことができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

商品のご紹介や各種イベント情報など、さまざまな情報をご覧いただけます。

■ キヤノン ＦＡＸ 情報サービス

札幌（011）728-0485 秋田（018）826-0441 仙台（022）211-5730

東京（03）3455-5962 名古屋（052）936-0758 大阪（06）4795-9011

広島（082）240-6729 高松（087）826-1621 福岡（092）411-9510

音声メッセージに従って操作をしてください。

ダイヤル回線をご利用の場合は、トーン切り換えを行ってください。

情報 BOX 番号は「各種ドライバ入手方法 ご案内：10001」「ドライバ郵送サービス一覧：11001」となります。

■ @nifty キヤノンステーション (http://www.nifty.com)

@nifty アクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」と入力してください。「電子会議」の「【プリンタ LASERSHOT】インフォメーション」内に掲載されています。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@nifty で予め入会の手続きをお取りください。

ソフトウェアの入手方法

ダウンロードおよび郵送サービスにより、プリンタドライバなどの最新のソフトウェアを入手することができます。通信料金はお客様のご負担になります。

■ インターネット：キヤノンホームページ (http://canon.jp/)

キヤノンホームページよりダウンロードできます。

キヤノンホームページにアクセス後、ダウンロードサービスをクリックしてください。

■ @nifty キヤノンステーション (http://www.nifty.com)

@nifty アクセス後、キヤノンステーションへの GO コマンド「SCANON」と入力してください。「データライブラリ」の「【LASER SHOT】ドライバ・ライブラリ」にプリンタドライバが登録されています。NIFTY-Serve の通信料金のみでダウンロードすることができます。

※キヤノンステーションは会員制のスクエアです。@nifty で予め入会の手続きをお取りください。

■ CD-ROM・FD の郵送サービス

郵送サービス手数料を郵便振替にてお払い込みいただき、プリンタドライバなどのソフトウェアの CD-ROM もしくは FD を郵送にてお届けいたします。お申し込み方法、ソフトウェアの種類、内容、金額は FAX 情報サービス、キヤノンホームページ（FAQ）などでご確認いただき、下記振込先へお払い込みください。

口座番号：00160-1-51418

口座名称：セザックス株式会社キヤノンプリンタドライバ係

- 「通信欄」には必ず「メディア名称・品番」をご記入ください。
- 「払込人住所氏名欄」の記載住所へ発送いたします。なお、当サービスの対象エリアは日本国内とさせていただきます。
- お客様のお電話番号は必ずご記入ください。
- お払い込みには郵便局備え付けの払込書をご利用ください。払込料金はお客様負担となります。
- ソフトウェアの種類により、CD-ROM/FD が異なります。